

# 第 5 回 復 興 道 路 会 議 ～宮城県～

日 時：平成 27 年 6 月 4 日（木）

15：00～17：00

場 所：宮城県自治会館 2 階 205 会議室

## 議 事 次 第

### 1. 挨 拶

国土交通省 東北地方整備局 道路部長

宮城県 土木部長

### 2. 議 事

1) 復興道路・復興支援道路の進捗確認について 資料 1～4

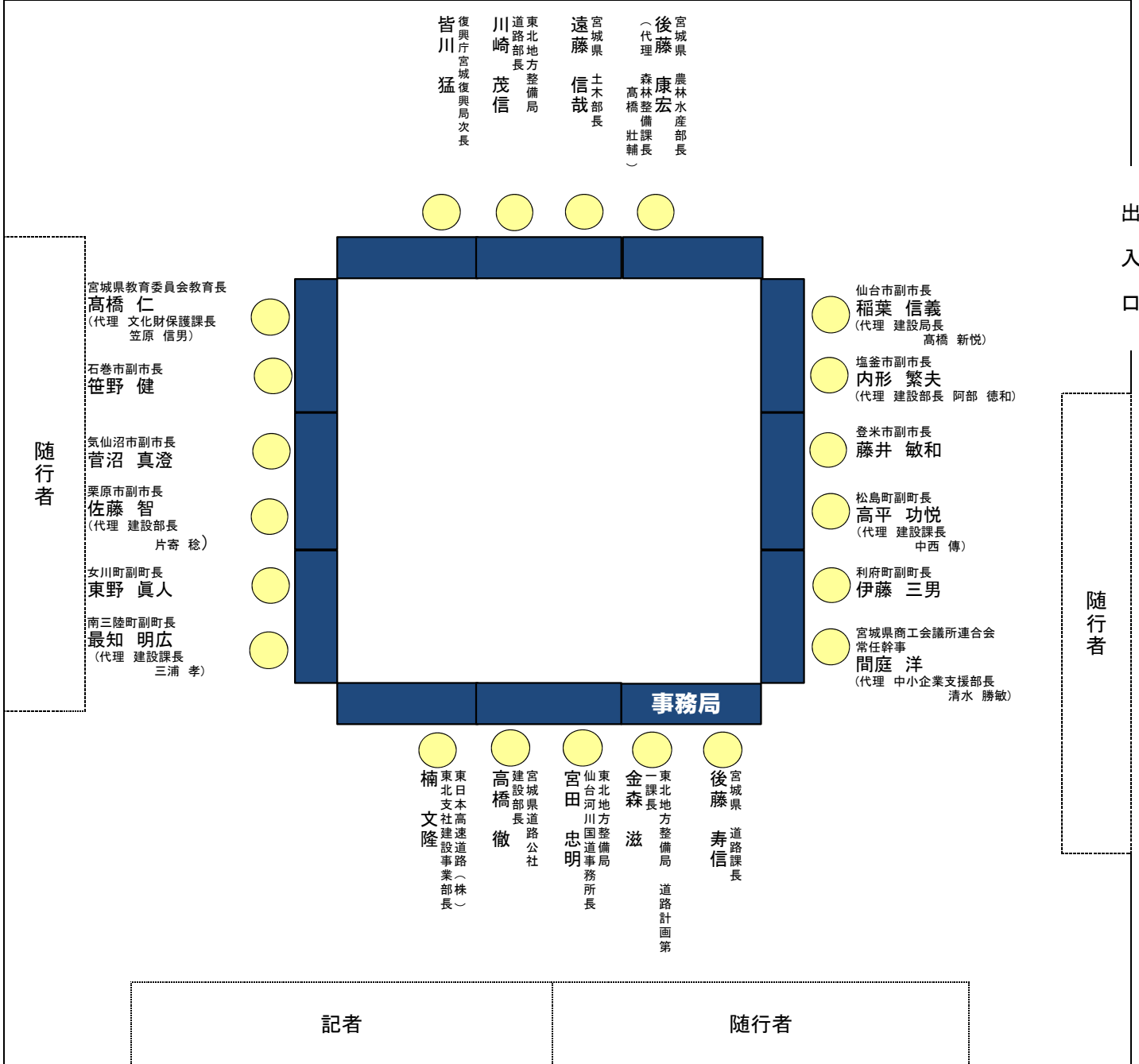
2) 事業進捗の「見える化」の取り組み状況の  
情報共有と継続実施の確認について 資料 5

3) 復興道路等を活かした地域振興策、  
地域づくり事例の情報共有について 資料 6～9

4) その他

「第5回復興道路会議～宮城県～」 配席図

自治会館 205会議室



「復興道路会議～宮城県～」

役 職 名	氏 名
宮城県土木部長	遠藤 信哉
宮城県農林水産部長	後藤 康宏
宮城県教育委員会教育長	高橋 仁
仙台市副市長	稲葉 信義
石巻市副市長	笹野 健
塩竈市副市長	内形 繁夫
気仙沼市副市長	菅沼 真澄
多賀城市副市長	鈴木 明広
登米市副市長	藤井 敏和
栗原市副市長	佐藤 智
東松島市副市長	古山 守夫
松島町副町長	高平 功悦
利府町副町長	伊藤 三男
女川町副町長	東野 真人
南三陸町副町長	最知 明広
宮城県道路公社 建設部長	高橋 徹
一般社団法人東北経済連合会 専務理事	渡辺 泰宏
宮城県商工会議所連合会 常任幹事	間庭 洋
仙台経済同友会 事務局長	金田 隆
東日本高速道路株式会社東北支社 建設事業部長	楠 文隆
復興庁 宮城復興局次長	皆川 猛
国土交通省 東北地方整備局 道路部長	川崎 茂信
国土交通省 東北地方整備局 仙台河川国道事務所長	宮田 忠明

敬称略

# 復興道路会議～宮城県～

## 規約

### (名 称)

第1条 本会議は、「復興道路会議～宮城県～」と称する。

### (目 的)

第2条 本会議は、東日本大震災からの復興に向けたリーディングプロジェクトとなる復興道路等の早期完成を図るため、全ての関係者に対する事業進捗への合意形成と、国・県・市町村・関係機関の連携による課題解決を目的として開催する。

### (協議事項)

第3条 本会議は、前条の目的を達成するため、次の各号に掲げる連絡及び調整を行う。

- 一 事業の合意形成に関する事項
- 二 事業促進の課題解決に関する事項
- 三 その他本会の目的を達成するために必要な事項

### (対象事業)

第4条 本会議で対象とする復興道路は、以下のとおりとする。

- 一 三陸沿岸道路
- 二 その他

### (組 織)

第5条 本会議は、以下の構成員をもって組織する。

- 一 宮城県、復興庁 宮城復興局  
国土交通省 東北地方整備局、東日本高速道路(株)東北支社
- 二 復興道路等の関係市町村
- 三 地域経済界

### (事務局)

第6条 本会議の庶務は、宮城県土木部及び国土交通省東北地方整備局道路部において処理する。

### (雑 則)

第7条 この規約に定めるもののほか、本会議の運営に関して必要な事項は会議において定める。

## 資 料 一 覧

- 次第
- 第5回復興道路会議～宮城県～ 配席図
- 復興道路会議～宮城県～ 構成員
- 復興道路会議～宮城県～ 規約
- 復興道路・復興支援道路の概要
- 復興道路・復興支援道路（宮城県内）
- 資料－1 復興道路・復興支援道路の各路線別進捗状況
- 資料－2 各事業区間別進捗状況（宮城県）
- 資料－3 宮城県の復興道路関連事業の進捗状況
  - 3－1 宮城県
  - 3－2 宮城県道路公社
  - 3－3 宮城県教育委員会
  - 3－4 宮城県森林整備課
- 資料－4 東北地方整備局の主な事業の進捗状況
- 資料－5 復興道路・復興支援道路の「見える化」  
【国土交通省の取り組み事例】
- 資料－6 事例発表【宮城県】
- 資料－7 事例発表【宮城県道路公社】
- 資料－8 事例発表【東日本高速道路株式会社】
- 資料－9－1 事例発表【石巻市】
- 資料－9－2 事例発表【登米市】
- 資料－9－3 事例発表【南三陸町】
- 資料－9－4 事例発表【気仙沼市】

# 復興道路・復興支援道路の概要

H27.5.15現在

復興道路・復興支援道路の総延長584km  
 [震災後新規区間236km(40%)]



三陸沿岸道路 359 km  
 [震災後新規区間 148 km]

宮古盛岡横断道路 (宮古～盛岡) 100km  
 [震災後新規区間 48km]

東北横断自動車道釜石秋田線 (釜石～花巻) 80km  
 [震災後新規区間 17km]

みやぎ県北高速幹線道路 24km  
 [震災後新規区間 11km]  
 (宮城県)

東北中央自動車道 (相馬～福島) 45km  
 [震災後新規区間 23km]

路線名	計画延長	開通延長	事業中延長	
			うち震災後開通	うち震災後新規
三陸沿岸道路	約 359km	152km	23km	207km
宮古盛岡横断道路	約 100km	8km	7km	58km
東北横断自動車道釜石秋田線 (釜石～花巻)	約 80km	54km	24km	26km
東北中央道 (相馬～福島)	約 45km	0km	0km	45km
計	約 584km	214km	54km	336km
みやぎ県北高速幹線道路	約 24km	9km	9km	11km
合計	約 608km	223km	63km	247km

# 宮城県内の概要

H27.5.15現在



※開通見通しは、集中復興期間後(平成28年度以降)の復興関係予算の継続を前提に、標準的な工程を想定した場合の目安です。  
「集中復興期間の総括及び平成28年度以降の復旧・復興事業のあり方」の検討状況、予算状況及び施工上の条件変化等により変更がありますので留意ください。

# 復興道路・復興支援道路の各道路別進捗状況（平成27年3月31日現在）

資料－1

## 《平成26年度の進捗状況》

- 復興道路・復興支援道路の**用地進捗率は約9割**、**主要構造物着手率は約6割**まで進捗
- 復興道路・復興支援道路で最長の橋梁である**(仮)気仙沼湾横断橋(1,344m)**が**H26.6.29**に着工
- 平成26年度末で、三陸沿岸道路の**4車線化が21km延伸**（計画延長約52kmのうち、32km開通）

路線名	計画延長	開通延長	事業中延長	用地進捗率※1	工事着手率※2	主要構造物着手率※3	主要構造物完成率※4	トンネル掘削進捗率※5	橋の上部工着手率※6
三陸沿岸道路	約 359km	152km	207km	約80%	約90%	約55%	約25%	—	—
		152km	207km	約90%	約95%	約70%	約35%	約35%	約45%
宮古盛岡横断道路	約 100km※	8km	58km	約70%	約60%	約35%	約30%	—	—
		8km	58km	約90%	約75%	約40%	約30%	約10%	約40%
東北横断道釜石秋田線 (釜石～花巻)	約 80km	54km	26km	約90%	100%	約65%	約45%	—	—
		54km	26km	約95%	100%	約75%	約55%	約85%	約55%
東北中央道 (相馬～福島)	約 45km	0km	45km	約60%	約80%	約65%	約15%	—	—
		0km	45km	約85%	約90%	約65%	約25%	約55%	約50%
合計	約 584km	214km	336km	約80%	約90%	約55%	約25%	—	—
		214km	336km	約90%	約95%	約65%	約35%	約35%	約45%

※未事業化区間約34kmを含む

三陸沿岸道路(4車線化)	約 52km	11km	41km	100%	100%	100%	約75%	—	—
		32km	20km	100%	100%	100%	約90%	—	100%

【宮城県】 みやぎ県北高速幹線道路	約 24km	9km	11km	約70%	約45%	約65%	約65%	—	—
		9km	11km	約85%	約80%	約70%	約65%	—	約65%

※1: 用地進捗率 = 取得済面積 (ha) / 必要面積 (ha)  
 ※2: 工事着手率 = 工事に着手したIC間延長 / 計画済延長  
 ※3: 主要構造物着手率 = (着手済 + 完成済構造物数) ÷ 全構造物数  
 ※4: 主要構造物完成率 = 完成済構造物数 ÷ 全構造物数  
 ※5: トンネル掘削進捗率 = トンネル掘削延長 / トンネル計画延長  
 ※6: 橋の上部工着手率 = (上部工着手済 + 完成済橋梁数) / 全橋梁数



## 【宮城県】各事業区間の進捗状況

(平成27年5月15日現在)

路線名	事業区間名	延長	開通予定	用地進捗率 (面積ベース) ※1	埋蔵文化財 調査完了率 ※2	保安林解除	事業進捗上の課題
				上段:H26.3.31現在 下段:H27.3.31現在			
<b>三陸沿岸道路</b>							
	唐桑高田道路 (唐桑北～陸前高田)	10.0km (2.0km)	H30年度	約69% 約99%	100% 100%	対象外	・用地取得の推進
	唐桑道路	3.0km	H22.12.19開通				
	気仙沼道路 (気仙沼～唐桑南)	9.0km	一部 H31年度	約58% 約76%	0% 約20%	未申請 2箇所/3箇所申請済	・用地取得の推進
	本吉気仙沼道路	7.1km	H29年度	約99% 100%	100% 100%	対象外	
	本吉気仙沼道路 (Ⅱ期)	4.0km	—	約88% 約99%	対象外	対象外	・用地取得の推進
	歌津本吉道路 (歌津～本吉)	12.0km	一部 H30年度	約86% 約97%	約90% 約90%	対象外	・用地取得の推進
	南三陸道路	7.2km	H29年度 (一部 H28年度)	約89% 約95%	約70% 100%	対象外	・用地取得の推進
	登米志津川道路	16.1km	H27年度	100% 100%	対象外	対象外	
	桃生登米道路	13.8km	H21.3.22開通				
	矢本石巻道路 (4車線化)	26.5km	H28年度 (一部4車線化完)	100% 100%	対象外	対象外	
	仙台松島道路 (4車線化)	18.3km	H27.3.30 4車線化完				
	仙塩道路 (4車線化)	7.8km	H27年度	100% 100%	本調査実施中 100%	対象外	

※1: 用地進捗率 = 取得済面積 (ha) / 必要面積 (ha)  
 ※2: 埋蔵文化財調査完了率 = 本調査完了面積 (ha) / 調査対象面積 (ha)

## みやぎ県北高速幹線道路（復興支援道路）の進捗状況

1) I 期区間（栗原市築館加倉～登米市迫町北方） 延長 L=8.9km

【平成 23 年 11 月 24 日供用開始】

**平成 27 年 3 月 26 日 II 期、III 期、IV 期区間の着工式を実施**

2) II 期区間（中田工区：登米市迫町佐沼～登米市中田町宝江） 延長 L=4.7km

【平成 29 年度供用予定】

- 事業着手年度：平成 23 年度
- 平成 27 年度は（仮）佐沼 IC から（主）中田栗駒線までの区間の地盤改良及び盛土工事，（仮）中田 IC 部の橋梁工事を推進

3) III 期区間（佐沼工区：登米市迫町北方～登米市迫町佐沼） 延長約 L=3.6km

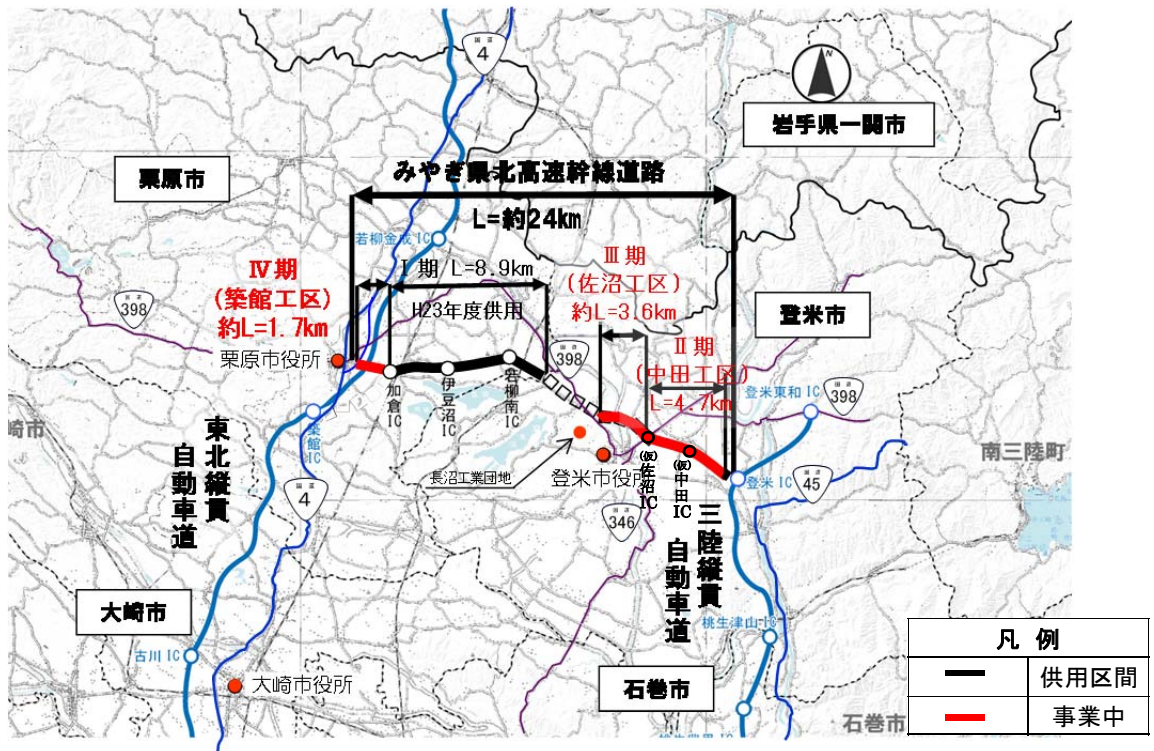
【三陸道の整備進捗に合わせて整備を推進】

- 事業着手年度：平成 25 年度
- 平成 27 年度は国道 398 号接続部及び（仮）佐沼 IC 部の地盤改良工事を推進するとともに，残区間の工事着手に向け、用地買収を推進

4) IV 期区間（築館工区：栗原市志波姫南堀口～栗原市築館萩沢） 延長約 L=1.7km

【三陸道の整備進捗に合わせて整備を推進】

- 事業着手年度：平成 25 年度
- 平成 27 年度は用地買収の完了した国道 4 号築館 B P 及び加倉 IC 側の地盤改良・盛土工事を推進するとともに，東北縦貫自動車道を横断する橋梁下部工事に着手予定



## ■これまでの取り組み事例

### ○県地方機関（登米地域事務所）の広報誌による地域住民への情報提供

◆内容・配布先 … 事業目的、事業説明会・用地説明会の開催状況、工事進捗状況等、合同庁舎、市役所、道の駅等で配布

#### みやぎ県北高速幹線道路

##### 事業概要および事業の目的、必要性

みやぎ県北高速幹線道路は、宮城県北部において東北自動車道と三陸自動車道を東西に結び、地方中心都市の相互連携の強化に資する地域高規格道路です。  
みやぎ県北高速幹線道路Ⅱ期（中田工区）・Ⅲ期（佐沼工区）は三陸自動車道登米ICと国道346号を通り登米市泊町舟橋を結ぶ復興支援道路です。

平成26年1月9日に、みやぎ県北Ⅱ期中田工区事業説明会を開催しました。関係者の皆様、今後のスケジュール等を説明しました。

平成26年1月30日に、みやぎ県北Ⅲ期佐沼工区事業説明会を開催しました。関係者の皆様、道路のルートの説明と、現地測量と地質調査をお願いしました。

平成26年2月20日に、みやぎ県北Ⅱ期中田工区用地説明会を開催しました。関係者の皆様、用地買収等の概要について説明しました。

平成26年3月11日から13日に、みやぎ県北Ⅱ期中田工区用地契約会を開催しました。地権者の皆様、個別に説明し、用地のご協力について、ご理解をいただきました。来年度より本格的に工事に着手する予定です。引き続き、関係者の皆様のご理解・ご協力をお願いいたします。

【説明会の配布資料より】

#### 1-1. 事業概要

みやぎ県北高速幹線道路は、宮城県北部において東北自動車道と三陸自動車道を東西に結びつぎ、地方中心都市の相互連携の強化に資する地域高規格道路です。  
みやぎ県北高速幹線道路（中田工区・佐沼工区）は三陸自動車道登米ICから国道346号を通り登米市泊町舟橋を結ぶ復興支援道路です。

平成26年1月9日に、みやぎ県北高速幹線道路Ⅱ期（中田工区）の事業説明会を開催し、道路計画の概要内容及び今後のスケジュール等を説明しました。  
また、平成26年1月30日に、Ⅲ期（佐沼工区）の事業説明会を開催し、関係者の皆様、道路のルートの説明と、現地測量及び地質調査に伴う用地立ち入りについてお願いをしました。

Ⅱ期（中田工区）については、平成26年2月20日に用地説明会を開催し、用地買収等の概要について説明しました。  
その後、用地契約会を平成26年3月11日及び13日、16日と開催し、多くの地権者の方々から用地のご協力をいただき、本年度から本格的に工事に着手する予定ですので、工事に関連して不明な点や不安な点がありましたら、お気軽に当事務所までご連絡下さい。

Ⅲ期（佐沼工区）については、本年内に計画説明会を予定していますので、引き続き、関係者の皆様のご理解・ご協力をお願いいたします。

工区	#23	#24	#25	#26	#27	#28	#29	#30
Ⅱ期 中田工区	→							
Ⅲ期 佐沼工区								→

用地説明会の様子

#### 主要事業紹介

##### みやぎ県北高速幹線道路用地説明会・事業計画説明会を開催

平成26年1月9日に、みやぎ県北Ⅱ期中田工区事業説明会を開催しました。関係者の皆様、今後のスケジュール等を説明しました。

平成26年1月30日に、みやぎ県北Ⅲ期佐沼工区事業説明会を開催しました。関係者の皆様、道路のルートの説明と、現地測量と地質調査をお願いしました。

平成26年2月20日に、みやぎ県北Ⅱ期中田工区用地説明会を開催しました。関係者の皆様、用地買収等の概要について説明しました。

平成26年3月11日から13日に、みやぎ県北Ⅱ期中田工区用地契約会を開催しました。地権者の皆様、個別に説明し、用地のご協力について、ご理解をいただきました。来年度より本格的に工事に着手する予定です。引き続き、関係者の皆様のご理解・ご協力をお願いいたします。

【説明会の配布資料より】

#### 1-1. 事業概要

みやぎ県北高速幹線道路は、宮城県北部において東北自動車道と三陸自動車道を東西に結びつぎ、地方中心都市の相互連携の強化に資する地域高規格道路です。  
みやぎ県北高速幹線道路（中田工区・佐沼工区）は三陸自動車道登米ICから国道346号を通り登米市泊町舟橋を結ぶ復興支援道路です。

平成26年1月9日に、みやぎ県北高速幹線道路Ⅱ期（中田工区）の事業説明会を開催し、道路計画の概要内容及び今後のスケジュール等を説明しました。  
また、平成26年1月30日に、Ⅲ期（佐沼工区）の事業説明会を開催し、関係者の皆様、道路のルートの説明と、現地測量及び地質調査に伴う用地立ち入りについてお願いをしました。

Ⅱ期（中田工区）については、平成26年2月20日に用地説明会を開催し、用地買収等の概要について説明しました。  
その後、用地契約会を平成26年3月11日及び13日、16日と開催し、多くの地権者の方々から用地のご協力をいただき、本年度から本格的に工事に着手する予定ですので、工事に関連して不明な点や不安な点がありましたら、お気軽に当事務所までご連絡下さい。

Ⅲ期（佐沼工区）については、本年内に計画説明会を予定していますので、引き続き、関係者の皆様のご理解・ご協力をお願いいたします。

事業説明会(1月30日)

用地説明会(2月20日)

#### 第8号

### 東部土木登米地域だより

平成26年12月19日発行

#### みやぎ県北高速幹線道路（中田工区）の道路工事が始まります。

平成27年1月頃より、みやぎ県北高速幹線道路（中田工区）の道路改良工事が本格的に始まります。三陸自動車道の登米IC付近から西側に沿って工事を進める計画で、具体的には以下の4つの工区に分けて施工する予定となっています。

1. 新成地区から新田地区までの区間  
この区間は、右巻市の株式会社丸本組さんが工事を担当し、平成27年1月からの工事の施工予定となっています。
2. 佐沼地区から油田地区までの区間  
この区間は、工事を担当する施工業者さんを決めるため、入札手続きを行っています。この区間は、平成27年4月頃の着手を見込んでいます。
3. 市道そよかぜラインと交差する橋梁工事  
この区間は、工事発注に向けて工事費用を算定するなどの入札手続きの準備作業を行っています。この区間は、平成27年2月頃の着手を見込んでいます。
4. 油田地区から国道346号までの区間  
この区間は、道路計画がまとまったので、その内容を地域の方々に示し、用地買収に向けて測量などの準備作業を行っています。後は、地権者の方々から用地買収のご協力をお願いします。平成27年6月頃の着手を見込んでいます。

#### みやぎ県北高速幹線道路（中田工区）位置図

#### 道路工事へのご協力をお願いします

平成27年1月頃より本格的に道路工事が始まります。中田地区の道路は土構造成となっていることから、土砂などを運搬する大型車の通行も多くなります。地域の皆様にはご迷惑をおかけいたしますが、安全第一で少しでも工事が早く終わるよう努力いたしますので、道路工事へのご理解とご協力をよろしくお願いたします。

### ○第Ⅱ期(中田工区),Ⅲ期(佐沼工区),Ⅳ期(築館工区)区間の着工式を実施(3月26日)⇒県内復興支援道路として初

◆着工式当日：会場にてパネル展示（事業概要・整備効果等） ◆関連イベント：大手ショッピングセンター等にパネル展示



# 仙台松島道路の4車線化事業の完成について

平成20年度から進めて参りました仙台松島道路4車線化事業が平成27年3月25日に完成し、30日6時に全線4車線での供用を開始しました。

仙台松島道路は、第I期事業として昭和54年12月に松島大郷ICから松島北IC間の工事に着手し、以降、段階的に整備を進め、今回の4車線化事業の完成により全線が4車線となりました。



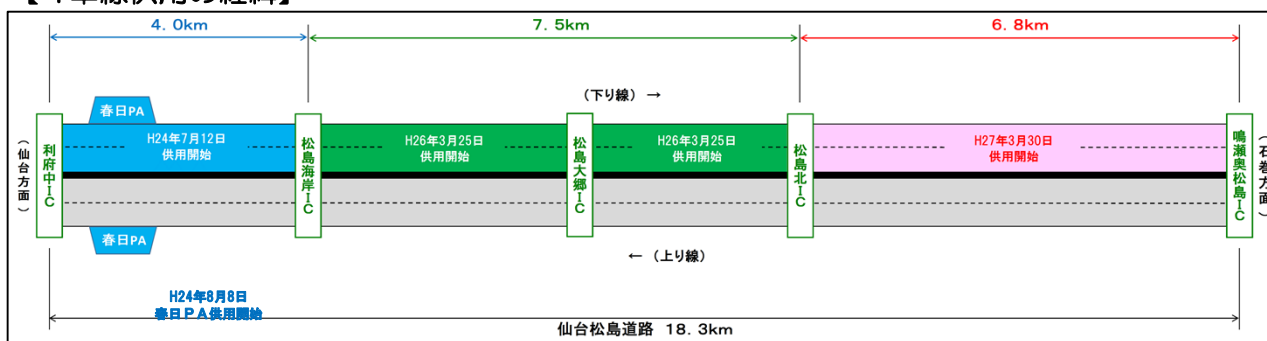
仙台松島道路4車線化事業完成式典の様子  
(平成27年3月29日)

## 【事業の概要】



事業名	仙台松島道路4車線化事業
事業区間	利府中IC～鳴瀬奥松島IC
事業延長	L=18.3km(全線) (VI期L=11.5km、VII期L=6.8km)
車線数	2車線→4車線
事業費	210億円(全体) (VI期160億円、VII期50億円)
事業期間	平成20年度～平成26年度
事業主体	宮城県道路公社

## 【4車線供用の経緯】



- 平成24年7月12日 利府中IC～松島海岸IC
- 平成26年3月25日 松島海岸IC～松島北IC

- 平成24年8月8日 春日PA
- 平成27年3月30日 松島北IC～鳴瀬奥松島IC

## 【4車線供用後の状況】

(利府中IC～松島海岸IC間)



(松島北IC～鳴瀬奥松島IC間)



## 復興道路会議（第 5 回）資料

宮城県教育委員会

## I. 円滑・迅速な発掘調査の実施のための施策

1. 発掘調査基準の弾力的な運用
2. 発掘調査体制の充実

## 宮城県教委の調査体制

宮城県教委職員	文化財保護課	21名	H27 合計36名体制
	東北歴史博物館	2名	
	多賀城跡調査研究所	1名	
	自治法派遣職員	12名	

## II. 三陸沿岸道路

- ◆仙塩道路（多賀城 I C 周辺） 対象遺跡：山王遺跡・市川橋遺跡
  - ・多賀前地区（4車線化部） 約 6,000 m<sup>2</sup> H24 調査終了
  - ・八幡地区（多賀城 I C 部） H24～26 約 22,000 m<sup>2</sup> 調査終了
  - ・調査予定箇所については、平成 26 年度で調査完了
- ◆歌津 I C～岩手県境 対象遺跡：9 遺跡
  - ・H26 まで 調査終了 5 遺跡
  - ・H27 以降 試掘→発掘調査 4 遺跡  
(石川原遺跡・小屋館城跡・卯名沢貝塚・忍館城跡)

## III. 常磐自動車道路（山元 I C～福島県境）

- ◆対象遺跡：24 遺跡（涌沢遺跡ほか）
- ◆調査は宮城県教委と山元町教委が分担し、H25 までに本線部の調査完了
- ◆坂元 I C 対象遺跡：法羅遺跡
  - ・H26 に一部調査終了、残りの部分は H27 夏頃調査予定

## IV. 宮城県北高速基幹道路（築館工区）

- ◆対象遺跡：大天馬遺跡、後沢遺跡、鰻沢遺跡隣接地
- ◆大天馬遺跡・後沢遺跡は H27.4～5 に本線部の調査終了、ボックス設置部は今後調査予定、鰻沢遺跡隣接地は H27 秋頃調査予定

宮城県北高速幹線道路  
築館工区(大天馬遺跡)



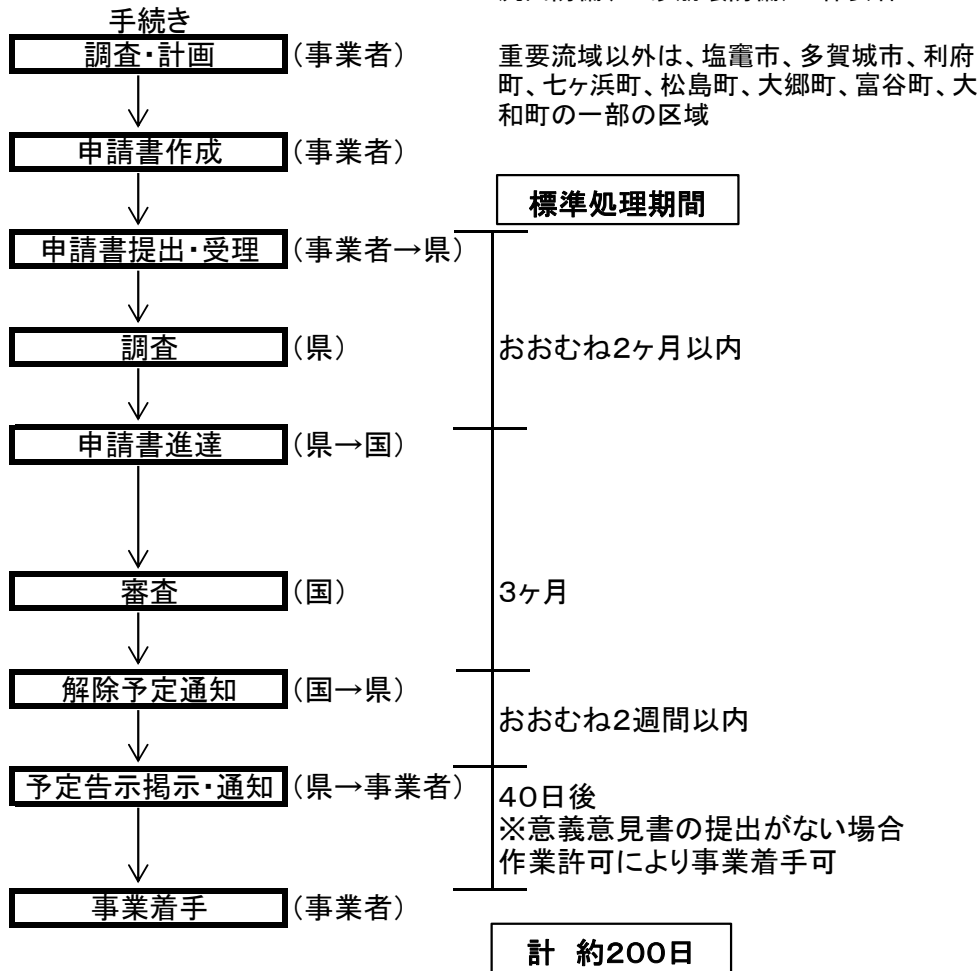
三陸沿岸道路  
歌津インター以北  
(小屋館城跡ほか)

三陸沿岸道路  
多賀城インター周辺  
(山王遺跡)

常磐自動車道路  
山元インター以南  
(涌沢遺跡ほか)

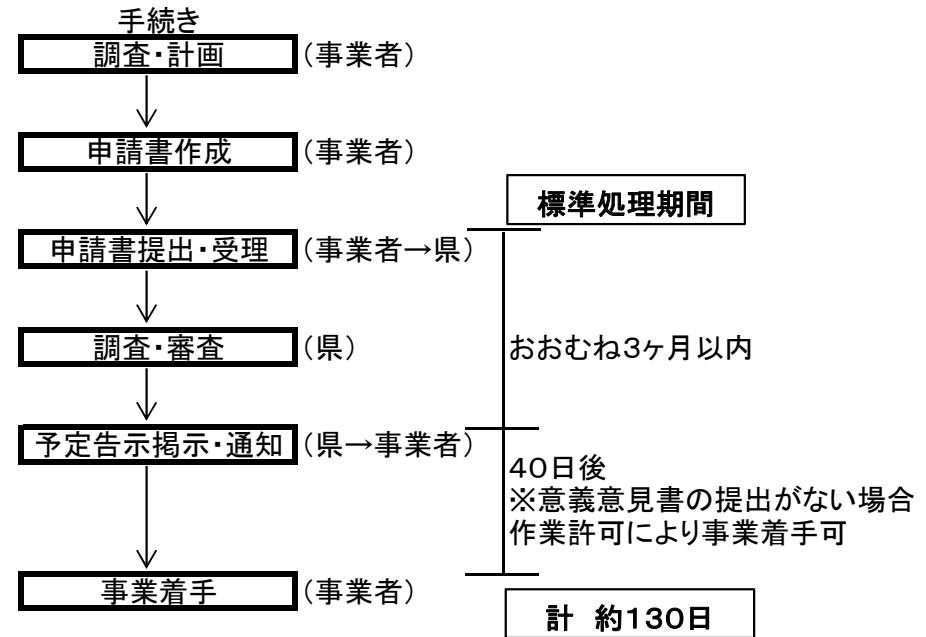
保安林解除に関する事業着手までの手続き(大臣権限)

※重要流域内で1~3号(水源かん養、土砂流出防備、土砂崩壊防備)の保安林



※震災復興に係る保安林解除については、国では迅速に処理する方針であり、県においても本庁直轄により処理することにより事務の迅速化を図る。

保安林解除に関する事業着手までの手続き(知事権限)



※震災復興に係る保安林解除については、迅速に処理する方針であり、審査期間等の短縮を図る。

復興道路に係る保安林解除予定

申請予定年度	事業名	事業主体	保安林の所在	保安林種	解除面積(ha)	申請年月日	予定告示年月日	確定告示年月日	備考
平成27年度	三陸沿岸道路気仙沼唐桑南間	国土交通省東北地方整備局	気仙沼市浪板地内	土砂崩壊防備保安林	0.3513	H27			大臣権限

※当該箇所以外に林野庁所管国有保安林の解除申請中

道路建設に係る保安林解除状況


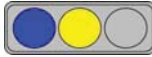



申請年度	事業名	事業主体	保安林の所在	保安林種	解除面積(ha)	申請年月日	予定告示年月日	確定告示年月日	申請から着手までの日数	備考
平成22年度	常磐自動車道福島県境山元IC間	東日本高速道路株式会社	亶理郡山元町真庭地内	土砂流出防備保安林	0.2377	平成22年10月6日	平成24年5月15日	平成24年8月16日	627日	大臣権限
平成23年度	三陸縦貫自動車道登米志津川道路改築事業	国土交通省東北地方整備局	登米市東和町米谷地内	水源かん養保安林	14.2273	平成23年5月31日	平成23年8月9日	平成24年2月27日	110日	大臣権限
平成24年度	常磐自動車道福島県境山元IC間	東日本高速道路株式会社	亶理郡山元町浅生原地内	土砂流出防備保安林	0.0188	平成24年4月12日	平成25年4月23日	平成25年9月26日	416日	大臣権限
平成25年度	一般県道大島波板線道路改良工事	宮城県気仙沼土木事務所	気仙沼市磯草地内	魚つき保安林	0.2633	平成25年7月11日	平成25年10月4日	平成25年11月15日	125日	知事権限
平成25年度	一般県道大島波板線道路改良工事	宮城県気仙沼土木事務所	気仙沼市少々汐地内	土砂崩壊防備保安林	0.1011	平成25年12月2日	平成26年1月17日	平成26年4月17日	86日	大臣権限








## 東北地方整備局の主な事業の進捗状況

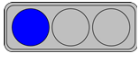
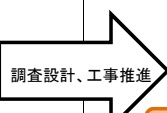

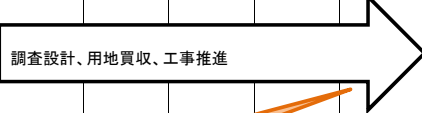
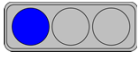
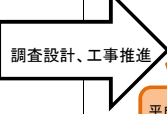



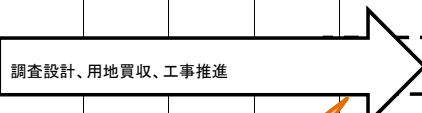


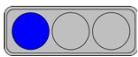
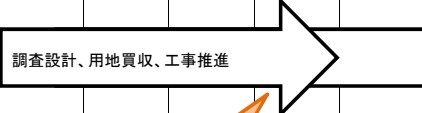
事業の透明性を向上させ、事業への理解を促進するための取り組みとして、東北地方整備局が進めている主な事業の進捗状況について、公表いたします。

－ 凡 例 －

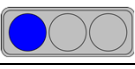
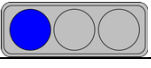
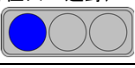
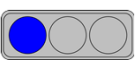
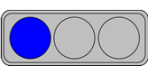
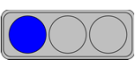
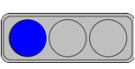
事業名	平成26年度 事業内容	平成27年度 事業内容	H26	H27	H28	H29	H30	H31以降	備考
〇〇事業 	・用地買収 ・〇〇工事 ・調査設計	・〇〇工事 ・調査設計	工事推進、調査設計		平成27年度完成予定				完成予定年度公表済みの場合は実線、未公表の場合は破線 事業途中において、先行して一部区間の開通・完成を予定している場合
〇〇事業 	・用地買収 ・〇〇工事 ・調査設計	・〇〇工事	工事推進		平成27年度完成予定				<進捗状況> ・工事中に〇〇が発生し、工事工程に影響が生じる可能性がある 進捗状況に課題が生じている、又は、生じる可能性がある場合
〇〇事業 	・用地買収 ・〇〇工事 ・調査設計	・〇〇工事	工事推進		平成27年度完成予定				<進捗状況> ・〇〇の難航により、事業進捗に遅れが生じている 進捗状況に遅れが生じており、完成時期が遅れる可能性がある場合
〇〇事業 	・用地買収 ・〇〇工事 ・調査設計	・〇〇工事	工事推進		平成27年度→平成28年度完成予定				完成時期の変更を赤実線で記載 <進捗状況> ・〇〇の難航により、事業進捗に遅延が発生し、完成時期が遅れる見込み
〇〇事業 	・〇〇工事	・〇〇工事	工事推進		課題解決の見通しがたっており、完成時期が不明の場合				<進捗状況> ・〇〇の難航により、〇〇が遅延し、完成時期不明

	予定どおりに進捗しているもの
	今後の進捗における課題が生じている、または、生じる可能性があるもの
	課題への対応に伴い、事業進捗に遅れが生じており、完成時期が遅れる可能性があるもの
	課題解決に時間を要し、計画よりも完成時期が遅れる見込みであるもの
	課題解決の見通しがたっており、現時点では完成時期が不明であるもの

# 高規格幹線道路・地域高規格道路事業の進捗状況

番号	県名	事業名	平成26年度 事業内容	平成27年度 事業内容	H26	H27	H28	H29	H30	H31以降	備考
1	岩手	東北横断自動車道 釜石秋田線 遠野～宮守 	・改良工事 ・舗装工事 ・調査設計	・舗装工事 ・調査設計	調査設計、工事推進 						・遠野IC～宮守IC L=9.0km(2/4) 平成27年度開通予定
2	宮城 岩手	一般国道45号 三陸縦貫自動車道 三陸沿岸道路 (唐桑北～陸前高田) 	・用地買収 ・改良工事 ・橋梁工事 ・トンネル工事 ・調査設計	・用地買収 ・改良工事 ・橋梁工事 ・トンネル工事 ・調査設計	調査設計、用地買収、工事推進 						・(仮称)唐桑北IC～陸前高田IC L=10.0km(2/2) 平成30年度開通予定
3	岩手	一般国道45号 三陸縦貫自動車道 三陸沿岸道路 (吉浜道路) 	・改良工事 ・橋梁工事 ・トンネル工事 ・舗装工事 ・調査設計	・改良工事 ・橋梁工事 ・舗装工事 ・調査設計	調査設計、工事推進 						・(仮称)三陸IC ～(仮称)吉浜IC L=3.6km(2/2) 平成27年度開通予定
4	岩手	一般国道45号 三陸縦貫自動車道 三陸沿岸道路 (吉浜～釜石) 	・用地買収 ・改良工事 ・橋梁工事 ・トンネル工事 ・調査設計	・用地買収 ・改良工事 ・橋梁工事 ・トンネル工事 ・調査設計	調査設計、用地買収、工事推進 						・(仮称)吉浜IC ～(仮称)釜石JCT L=14.0km(2/2) 平成30年度開通予定
5	岩手	一般国道45号 三陸縦貫自動車道 三陸沿岸道路 (釜石山田道路) 	・用地買収 ・改良工事 ・橋梁工事 ・トンネル工事 ・調査設計	・用地買収 ・改良工事 ・橋梁工事 ・トンネル工事 ・調査設計	調査設計、用地買収、工事推進 						・(仮称)釜石JCT ～釜石両石IC L=5.6km(2/2) 平成30年度開通予定  ・釜石北IC ～(仮称)大槌IC L=4.8km(2/2) 着手後概ね10年程度を目指すものの、完成に向けた円滑な事業実施環境が整った段階で確定予定  ・(仮称)大槌IC ～山田南IC L=8.0km(2/2) 平成30年度開通予定
6	岩手	一般国道45号 三陸縦貫自動車道 三陸沿岸道路 (山田～宮古南) 	・用地買収 ・改良工事 ・橋梁工事 ・トンネル工事 ・調査設計	・用地買収 ・改良工事 ・橋梁工事 ・トンネル工事 ・調査設計	調査設計、用地買収、工事推進 						・山田IC～宮古南IC L=14.0km(2/2) 平成29年度開通予定
7	岩手	一般国道45号 三陸縦貫自動車道 三陸沿岸道路 (宮古中央～田老) 	・用地買収 ・改良工事 ・橋梁工事 ・トンネル工事 ・調査設計	・用地買収 ・改良工事 ・橋梁工事 ・トンネル工事 ・調査設計	調査設計、用地買収、工事推進 						・宮古中央IC ～(仮称)田老第2IC L=17.0km(2/2) 平成32年度開通予定  ・(仮称)田老第2IC～(仮称)田老北IC L=4.0km(2/2) 平成29年度開通予定

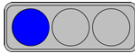
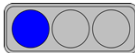



# 高規格幹線道路・地域高規格道路事業の進捗状況

番号	県名	事業名	平成26年度 事業内容	平成27年度 事業内容	H26	H27	H28	H29	H30	H31以降	備考	
8	岩手	一般国道45号 八戸・久慈自動車道 三陸沿岸道路 (久慈北道路) 	・用地買収 ・改良工事 ・橋梁工事 ・調査設計	・用地買収 ・橋梁工事 ・調査設計	調査設計、用地買収、工事推進					平成30年度開通予定 (仮称)待浜IC～久慈北IC		・(仮称)待浜IC～久慈北IC L=7.4km(2/2) 平成30年度開通予定
9	岩手	一般国道283号 東北横断自動車道 釜石秋田線 釜石花巻道路 (釜石～釜石西) 	・用地買収 ・改良工事 ・橋梁工事 ・トンネル工事 ・調査設計	・用地買収 ・改良工事 ・橋梁工事 ・トンネル工事 ・調査設計	調査設計、用地買収、工事推進					平成30年度開通予定 (仮称)釜石JCT～(仮称)釜石西IC		・(仮称)釜石JCT～(仮称)釜石西IC L=6.0km(2/2) 平成30年度開通予定
10	岩手	一般国道283号 東北横断自動車道 釜石秋田線 釜石花巻道路 (遠野住田～遠野) 	・用地買収 ・改良工事 ・橋梁工事 ・トンネル工事 ・調査設計	・用地買収 ・改良工事 ・トンネル工事 ・調査設計	調査設計、用地買収、工事推進					平成30年度開通予定 遠野住田IC～遠野IC		・遠野住田IC～遠野IC L=11.0km(2/2) 平成30年度開通予定
11	岩手	一般国道45号 三陸北縦貫道路 三陸沿岸道路 (田老～岩泉) 	・用地買収 ・改良工事 ・橋梁工事 ・トンネル工事 ・調査設計	・用地買収 ・改良工事 ・橋梁工事 ・トンネル工事 ・調査設計	調査設計、用地買収、工事推進					平成29年度開通予定 (仮称)田老北IC～岩泉龍泉洞IC		・(仮称)田老北IC ～岩泉龍泉洞IC L=6.0km(2/2) 平成29年度開通予定
12	岩手	一般国道106号 宮古盛岡横断道路 (宮古～箱石) 	・用地買収 ・改良工事 ・橋梁工事 ・トンネル工事 ・調査設計	・用地買収 ・改良工事 ・橋梁工事 ・トンネル工事 ・調査設計	調査設計、用地買収、工事推進					平成32年度開通予定 宮古市藤原～(仮称)松山IC 平成31年度開通予定 宮古市下川井地区 開通時期未定 宮古市根市～宮古市箱石		・宮古市藤原 ～(仮称)松山IC L=4.0km(2/4) 平成32年度開通予定 ・宮古市根市 ～宮古市箱石 L=27.0km(2/2) 着手後概ね10年程度を 目指すものの、完成に 向けた円滑な事業実施 環境が整った段階で 確定予定 ・宮古市下川井地区 L=2.0km(2/2) 平成31年度開通予定
13	岩手	一般国道106号 宮古盛岡横断道路 (都南川目道路) 	・用地買収 ・改良工事 ・トンネル工事 ・調査設計	・用地買収 ・トンネル工事 ・舗装工事 ・調査設計	工事推進					平成27年度開通予定 (仮称)川目IC～(仮称)田の沢IC 平成31年度開通予定 (仮称)田の沢IC～(仮称)手代森IC		・(仮称)川目IC ～(仮称)田の沢IC L=2.6km(2/2) 平成27年度開通予定 ・(仮称)田の沢IC ～(仮称)手代森IC L=3.4km(2/2) 平成31年度開通予定
14	宮城	一般国道45号 三陸縦貫自動車道 三陸沿岸道路 (仙塩道路) 	・改良工事 ・橋梁工事 ・調査設計	・改良工事 ・橋梁工事 ・調査設計	調査設計、工事推進					平成27年度開通予定 仙台港北IC～利府中IC		・仙台港北IC～利府中IC (仮称)多賀城IC含む) L=7.8km(4/4) 平成27年度開通予定

# 高規格幹線道路・地域高規格道路事業の進捗状況

番号	県名	事業名	平成26年度 事業内容	平成27年度 事業内容	H26	H27	H28	H29	H30	H31以降	備考
15	宮城	一般国道45号 三陸縦貫自動車道 三陸沿岸道路 (矢本石巻道路) 	・改良工事 ・橋梁工事 ・舗装工事 ・調査設計	・改良工事 ・橋梁工事 ・舗装工事 ・調査設計	調査設計	→	→				<ul style="list-style-type: none"> <li>石巻北IC～桃生豊里IC L=12.1km(4/4) 平成27年度開通予定</li> <li>↓</li> <li>平成28年度開通予定</li> <li>石巻北IC平成27年秋開通予定</li> </ul> <p>〔進捗状況〕 ・軟弱地盤改良施工時の支障物(転石)により作業効率が低下し、工事工程に遅延が発生</p>
16	宮城	一般国道45号 三陸縦貫自動車道 三陸沿岸道路 (登米志津川道路) 	・改良工事 ・舗装工事 ・調査設計	・舗装工事 ・調査設計	調査設計、工事推進	→					<ul style="list-style-type: none"> <li>登米東和IC ～(仮称)志津川IC L=11.1km(2/2) 平成27年度開通予定</li> </ul>
17	宮城	一般国道45号 三陸縦貫自動車道 三陸沿岸道路 (南三陸道路) 	・用地買収 ・改良工事 ・橋梁工事 ・トンネル工事 ・調査設計	・用地買収 ・改良工事 ・橋梁工事 ・調査設計	調査設計、用地買収、工事推進	→	→				<ul style="list-style-type: none"> <li>(仮称)志津川IC ～(仮称)南三陸海岸IC L=3.0km(2/2) 平成28年度開通予定</li> <li>(仮称)南三陸海岸IC ～(仮称)歌津IC L=4.2km(2/2) 平成29年度開通予定</li> </ul>
18	宮城	一般国道45号 三陸縦貫自動車道 三陸沿岸道路 (歌津～本吉) 	・用地買収 ・改良工事 ・橋梁工事 ・調査設計	・用地買収 ・改良工事 ・橋梁工事 ・調査設計	調査設計、用地買収、工事推進	→	→	→			<ul style="list-style-type: none"> <li>(仮称)歌津IC ～(仮称)歌津北IC L=4.0km(2/2) 平成30年度開通予定</li> <li>(仮称)歌津北IC ～(仮称)本吉IC L=8.0km(2/2) 着手後概ね10年程度を目指すものの、完成に向けた円滑な事業実施環境が整った段階で確定予定</li> <li>開通時期未定 (仮称)歌津北IC～(仮称)本吉IC</li> </ul>
19	宮城	一般国道45号 三陸縦貫自動車道 三陸沿岸道路 (本吉気仙沼道路) 	・用地買収 ・改良工事 ・調査設計	・用地買収 ・改良工事 ・調査設計	調査設計、用地買収、工事推進	→					<ul style="list-style-type: none"> <li>(仮称)大谷IC ～(仮称)気仙沼IC L=7.1km(2/4) 平成29年度開通予定</li> </ul>
20	宮城	一般国道45号 三陸縦貫自動車道 三陸沿岸道路 (気仙沼～唐桑南) 	・用地買収 ・改良工事 ・橋梁工事 ・トンネル工事 ・調査設計	・用地買収 ・改良工事 ・橋梁工事 ・トンネル工事 ・調査設計	調査設計、用地買収、工事推進	→	→	→			<ul style="list-style-type: none"> <li>(仮称)気仙沼IC ～(仮称)気仙沼港IC L=1.7km(2/2) 平成31年度開通予定</li> <li>(仮称)気仙沼港IC ～(仮称)唐桑南IC L=7.3km(2/2) 着手後概ね10年程度を目指すものの、完成に向けた円滑な事業実施環境が整った段階で確定予定</li> <li>開通時期未定 (仮称)気仙沼港IC～(仮称)唐桑南IC</li> </ul>
21	山形 福島	東北中央自動車道 福島～米沢 	・改良工事 ・橋梁工事 ・トンネル工事 ・舗装工事 ・調査設計	・改良工事 ・トンネル工事 ・舗装工事 ・調査設計	調査設計、工事推進	→	→				<ul style="list-style-type: none"> <li>(仮称)福島JCT ～(仮称)大笹生IC L=1.9km(2/4) 平成28年度開通予定</li> <li>(仮称)大笹生IC ～(仮称)米沢IC L=26.1km(2/4) 平成29年度開通予定</li> <li>平成28年度開通予定 (仮称)福島JCT～(仮称)大笹生IC</li> <li>平成29年度開通予定 (仮称)大笹生IC～(仮称)米沢IC</li> </ul>

# 高規格幹線道路・地域高規格道路事業の進捗状況

番号	県名	事業名	平成26年度 事業内容	平成27年度 事業内容	H26	H27	H28	H29	H30	H31以降	備考	
22	福島	一般国道115号 東北中央自動車道 相馬福島道路 (相馬～相馬西) 	・用地買収 ・改良工事 ・橋梁工事 ・トンネル工事 ・調査設計	・用地買収 ・改良工事 ・橋梁工事 ・トンネル工事 ・調査設計	調査設計、用地買収、工事推進					平成30年度開通予定 相馬IC～(仮称)相馬西IC		・相馬IC～(仮称)相馬西IC L=6.0km(2/2) 平成30年度開通予定
23	福島 宮城	一般国道115号 東北中央自動車道 相馬福島道路 (阿武隈東道路) 	・橋梁工事 ・トンネル工事 ・調査設計	・トンネル工事 ・調査設計	調査設計、工事推進					平成28年度開通予定 (仮称)相馬西IC～(仮称)阿武隈東IC		・(仮称)相馬西IC ～(仮称)阿武隈東IC L=10.7km(2/2) 平成28年度開通予定
24	福島	一般国道115号 東北中央自動車道 相馬福島道路 (阿武隈東～阿武隈) 	・用地買収 ・改良工事 ・調査設計	・用地買収 ・改良工事 ・橋梁工事 ・調査設計	調査設計、用地買収、工事推進					平成29年度開通予定 (仮称)阿武隈東IC～(仮称)阿武隈IC		・(仮称)阿武隈東IC ～(仮称)阿武隈IC L=5.0km(2/2) 平成29年度開通予定
25	福島	一般国道115号 東北中央自動車道 相馬福島道路 (霊山道路) 	・用地買収 ・改良工事 ・橋梁工事 ・トンネル工事 ・調査設計	・用地買収 ・改良工事 ・橋梁工事 ・トンネル工事 ・調査設計	調査設計、用地買収、工事推進					平成29年度開通予定 (仮称)阿武隈IC～(仮称)霊山IC		・(仮称)阿武隈IC ～(仮称)霊山IC L=12.0km(2/2) 平成29年度開通予定
26	福島	一般国道121号 会津縦貫北道路 	・改良工事 ・橋梁工事 ・舗装工事 ・調査設計	・改良工事 ・橋梁工事 ・舗装工事 ・調査設計	調査設計、工事推進					平成27年度開通予定 湯川南IC～会津若松北IC		・湯川南IC～会津若松北IC L=3.0km(2/4) 平成27年度開通予定

**◆復興道路・復興支援道路の見える化（平成26年度）**

- 起工式、現場見学会、地域の復興支援、自治体での事業進捗等、見える化を紹介

**◆復興道路・復興支援道路の見える化の取り組み****○住民参加による各種式典の開催**

- ・式典への住民参加事例を紹介

**○現場見学会における進捗状況の説明**

- ・夏休みを活用した現場見学会、体験学習を併用した現場見学会を紹介

**○市町村役場等における進捗状況発信**

- ・市町村役場や道の駅、観光施設等において「モニター」「説明看板」や「かわら版」「HP」等による情報発信を紹介

**○地域とのコミュニケーションを重視した取り組み**

- ・施工企業のCSR活動の見える化を紹介

**◆県別・市町村別における「見える化」の取り組み****○岩手県**

- ・県及び市町村で実施する現場見学会や広報を紹介
- ・好事例を紹介

**○宮城県**

- ・市町村で実施する現場見学会や広報を紹介
- ・好事例を紹介

**○福島県**

- ・県及び市町村で実施する現場見学会や広報を紹介
- ・好事例を紹介

# 復興道路・復興支援道路の見える化（平成26年度）

～ 総延長584km 214km開通済 113km新規開通見通し発表 ～

## 復興道路・復興支援道路 開通目標



## ◇起工式

### Tn貫通式等

41回  
新聞90回報道  
テレビ74回放映

トンネル貫通式  
吉浜トンネル(大船渡市)(H26.4.25)



## ◇現場見学会等

67回  
約2,900人

H25年度  
64回 約2,700人

南三陸道路  
4号トンネル見学会(南三陸町)(H26.6.5)



## ◇復興道路専用COプラントの稼働

8月31日: 宮古地区  
9月 3日: 釜石地区

宮古地区  
COプラント稼働式(宮古市)(H26.8.31)



## ◇地域復興支援

発生土提供  
42地区250万m<sup>3</sup>  
(H26年度内予定)

H25年度末  
44地区140万m<sup>3</sup>提供済

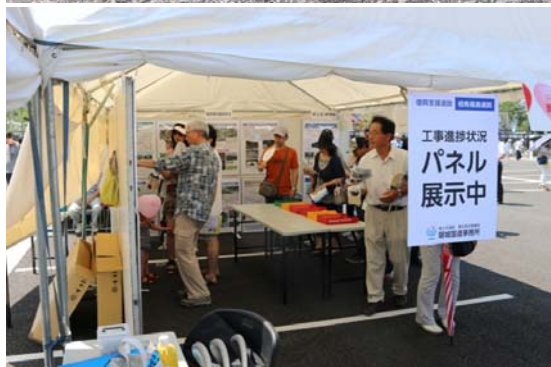
区画整理事業への  
発生土提供(釜石市)



## ◇市町村等での進捗状況の発信

134箇所  
・市町村ロビー 24箇所  
・道の駅等 27箇所  
・現地看板 49箇所  
・進捗状況写真展 34箇所

整備進捗状況  
パネル展示状況(相馬市)(H26.7.26)



約19万ヒット<H27.3末>  
H25年度約13万ヒット

## ◇HPIによる情報発信

**復興道路**

# 復興道路・復興支援道路の見える化の取り組み(1)

## ●住民参加による各種式典の開催

- ◆工事の節目に行う式典(トンネル貫通式、橋梁連結式等)において住民参加の各種式典を開催。
- ◆工事の進捗状況について理解を深め、地域とのコミュニケーションを重視。

### 【三陸沿岸道路 吉浜道路】

吉浜トンネル貫通式《岩手県大船渡市》  
(H26.4.25)



▲近隣の4つの小中学生270名を含む地域の方々の参加により貫通式を開催。

### 【三陸沿岸道路 宮古田老道路】

山口第2トンネル着工式《岩手県宮古市》  
(H26.10.10)



▲宮古田老道路において4本目のトンネル着工となる山口第2トンネルの着工を次代を担う地元小学生を招き開催。事業の進捗に理解を深めてもらった。



# 復興道路・復興支援道路の見える化の取り組み(2)

## ●現場見学会における進捗状況の説明

- ◆小中学生や地域の方々、土木を専門に学んでいる高校生・大学生、復興道路等の事業を支援していただいている団体や自治体等、様々な方々が現場見学に参加。
- ◆夏休みを活用し親子で参加できる現場見学会の開催、体験学習を併用した現場見学会の開催等、工夫を凝らした現場見学会を開催。

【相馬福島道路 霊山道路】

夏休みを活用した現場見学会《福島県伊達市》

【三陸沿岸道路 矢本石巻道路】

体験学習を併用した現場見学会《宮城県石巻市》



▲金弁蔵トンネル等の構造物を見学(26.8.2)



▲高力ボルトの締め付け体験(26.12.3)

# 復興道路・復興支援道路の見える化の取り組み(3)

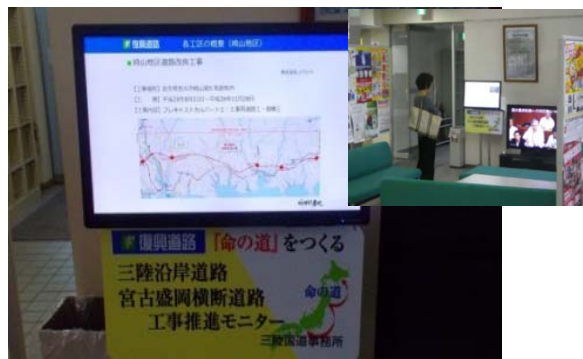
## ●市町村役場等における進捗状況発信

- ◆地域の方々が集まる市町村の役場・道の駅や観光客が集まる観光施設等においてモニター、かわら版、HP等を活用し、復興道路等の必要性や工事の進捗状況を発信。
- ◆地域の方々や道路利用者、観光客等を対象に進捗状況の見える化の取り組みを実施。

### ①復興道路等の沿線市町村ロビー等における情報提供の工夫



▲市役所のカウンター脇の小スペースを活用しモニターより情報を発信(岩手県釜石市)

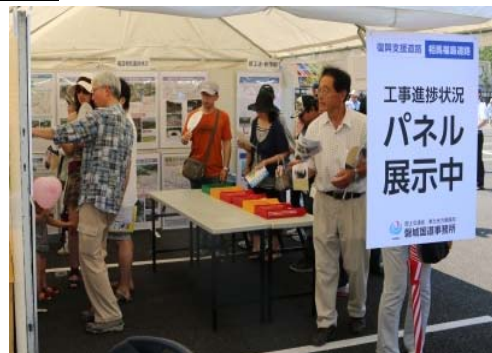


▲市役所の休憩スペースを活用しモニターより情報を発信(岩手県宮古市)

### ②沿線道の駅等における情報提供の工夫



▲メイントンネルの進捗状況を発信(岩手県宮古市)



▲イベントを活用した情報発信状況(福島県相馬市「市民のひろば」(H26.7.26))

### ③現場広報ポイントにおける説明看板の工夫



▲「吉浜釜石道路 荒川トンネル」では説明看板に三次元平面図を活用(岩手県釜石市)



▲統一看板への開通目標の掲示(岩手県遠野市)

### ④「かわら版」やHPによる情報発信



▲進捗状況をお知らせする「かわら版」



▲東北地方整備局の復興道路ポータルサイト(HP)

# 復興道路・復興支援道路の見える化の取り組み(4)

## ●地域とのコミュニケーションを重視した取り組み

- ◆次代を担う子供たちを含めた地域とのコミュニケーションをより重視して、施工企業のCSR活動とともに見える化の取り組みを実施。
- ◆国道45号摂待道路工事では、公共用プラントの愛称募集や地元中学生に体験学習の場を提供し、小鎚地区トンネル工事では、着工式で「ちびっこ虎舞」を披露した幼稚園児を現場見学会に招待する等、地域とのコミュニケーションを深める取り組みを実施。

### 【三陸沿岸道路 田老岩泉道路】

国道45号摂待道路工事 《岩手県宮古市》

### 【三陸沿岸道路 釜石山田道路】

小鎚地区トンネル工事 《岩手県大槌町》



▲プラント稼働式に愛称・PRボード  
図案を応募してくれた小学生を招待  
(H26.8.31)



▲PR看板応募作品



▲地元中学生が「生コン造り」を体験する  
総合学習の場を提供(H26.8.26)



▲着工式(H25.10.10)  
幼稚園児による  
ちびっこ虎舞を披露



▲着工式でちびっこ虎舞を披露した幼稚園児を現場見学会に招待(H26.7.9)

## ○市町村別における「見える化」の取り組み

【岩手県】

岩手県	<ul style="list-style-type: none"> <li>・県政広報誌「いわてグラフ」、「県土づくりNEWS」やホームページで復興道路の情報を発信</li> <li>・民放4社の県政番組において復興道路の進捗状況を情報発信</li> </ul>
盛岡市	<ul style="list-style-type: none"> <li>・盛岡市ホームページで復興道路を紹介</li> </ul>
宮古市	<ul style="list-style-type: none"> <li>・市主催で地元住民等を対象とした復興道路現場見学会の実施</li> </ul>
大船渡市	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域の女性を対象とした「現場見学会」を主催</li> </ul>
遠野市	<ul style="list-style-type: none"> <li>・市主催で地元住民を対象とした現場見学会を実施</li> </ul>
釜石市	<ul style="list-style-type: none"> <li>・市広報へ三陸沿岸道路・釜石花巻道路の進捗状況を4頁にわたり掲載 <b>【事例1】</b></li> <li>・市長室に三陸沿岸道路の模型を掲示</li> </ul>
大槌町	<ul style="list-style-type: none"> <li>・小学生とその保護者を対象とした「まちづくり現場見学会」を主催</li> <li>・町広報へ三陸沿岸道路・釜石山田道路の進捗状況を2頁にわたり掲載</li> </ul>
山田町	<ul style="list-style-type: none"> <li>・観光協会ブログで工事進捗を発信 <b>【事例2】</b></li> </ul>
岩泉町	<ul style="list-style-type: none"> <li>・現場見学会(地域住民、小中学生、関係機関)を主催</li> </ul>
田野畑村	<ul style="list-style-type: none"> <li>・村広報へ三陸沿岸道路・田野畑道路、尾肝要普代道路の進捗状況を8頁にわたり掲載</li> </ul>
野田村	<ul style="list-style-type: none"> <li>・村民各戸に導入されているIP告知端末で三陸沿岸道路の工事進捗状況を発信</li> </ul>
久慈市	<ul style="list-style-type: none"> <li>・久慈市ホームページで三陸沿岸道路の工事進捗状況を発信</li> </ul>
洋野町	<ul style="list-style-type: none"> <li>・洋野町ホームページで三陸沿岸道路の工事進捗状況を発信</li> </ul>

# 【岩手県】

## 事例1：広報誌にて進捗状況を発信（釜石市）

釜石道路

復興道路・復興支援道路の整備状況をお知らせします

吉浜釜石道路

釜石山田道路

## 事例2：観光協会ブログで工事進捗を発信（山田町）

山田町観光協会 公式ブログ vol.2  
山田とことこ日記

岩手県のリアス式で有名な三陸海岸のど真ん中「山田町」にある山田町観光協会の公式ブログ(vol.2)です。  
山田の観光情報、おすすめスポット、旬の話、復興状況など発信してまいりますのでよろしくお願いいたします！

TOP / 復興道路  
- 1 2 3 >>

2015年02月18日

大沢小学校 工事見学

2月10日(水)は大沢小学校の工事見学がありました。  
場所は「山田第2トンネル工事」、釜石側です。

山田地区

お邪魔するのは2回目、果たしてどこまで掘り進んだでしょうか。  
1回目の様子はこちら→<http://yamada-kankou.sblo.jp/article/104125300.html>

検索ボックス

関係リンク

ブログvol.1 (山田かきくけ通信)  
岩手県 山田町観光協会 公式サイト  
山田咲えーる日誌  
三陸山田がんばつべ市場(ネットショップ)

最近の記事

(15/02/24)山田町観光協会臨時総会  
(15/02/23)環境省・復興エコツーリズム推進モデル事業『成果報告会』  
(15/02/21)とつとからのお知らせ  
(15/02/20)山田町ジオパーク学習会  
(15/02/18)大沢小学校 工事見学

カテゴリ

日記(298)  
とつと(33)  
イベント(30)  
お祭・歳時記(34)  
食べ物(8)  
観光(5)  
感謝(12)  
実跡(9)  
頑張ってます～お店紹介～(31)  
お知らせ(322)  
行ってきました(121)  
復興道路(4)

2015年02月

## ○市町村別における「見える化」の取り組み

【宮城県】

石巻市	・市政教室において市民を対象に三陸道の現場見学会を実施し、見識を深めて頂いた。
気仙沼市	・「海の市」に気仙沼湾横断橋の模型を展示 <b>【事例1】</b>
南三陸町	・町広報紙にて整備状況を周知 <b>【事例2】</b>

## 【宮城県】

### 事例1:「海の市」に気仙沼湾横断橋の模型を展示(気仙沼市)



### 事例2: 広報誌にて進捗状況を発信(南三陸町)

広報26年5月号



広報27年1月号



#### トンネル見学会

11月26日(水)、工事中の南三陸道路2号・3号トンネルを志津川小学校と戸倉小学校の児童が見学しました。トンネルが出来るまでの説明を受け、機械が実際に掘削する様子を目の前で見ました。また、今回見学に来る前に、トンネルを造るために必要なロックボルトのカバー一つひとつに児童が思いの言葉や絵を描きました。児童たちは自分が描いたカバーを見つけると、駆け寄って一緒に記念撮影をしたりしました。このカバーは工事が進むと隠れて見えなくなってしまうのですが、児童の思いとともにトンネルの一部としてずっと残りつづけます。

#### 南三陸道路1号トンネル貫通!!

4月14日(月)、「復興道路」として整備を進める三陸自動車道のうち、志津川と歌津を結ぶ南三陸道路の1号トンネルの貫通式が現地(入谷字大沢地内)で行われました。衆議院議員小野寺五典、防衛大臣志津川中学校の生徒等が発破ボタンを押すと、爆発音とともに貫通点が除雪されました。南三陸道路では4か所のトンネルが整備されます。すでに4か所全てで着工済みですが、貫通したのは1号トンネルが初めてです。1号トンネルの貫通が復興の追い風となることでしょうか。式の中では、貫通を祝い、志津川中学校3年生による合唱「歓喜の歌」が披露されました。

MINAMISANRIKU-TOWN TOPICS  
**町の話題**

## ○市町村別における「見える化」の取り組み

【福島県】

福島市	・福島市ホームページで復興道路を紹介
相馬市	・ホームページや広報誌「広報そうま」に事業進捗状況等を掲載 <b>【事例1】</b> ・地域住民に進捗状況を周知するために復興道路の現場見学会を開催
伊達市	・広報誌「だて市政だより」にて毎号掲載し情報提供 ・市内各小・中学校27校に工事状況ポスターを掲示 <b>【事例2】</b>
桑折町	・広報誌「広報こおり」によるPR ・桑折町ホームページに復興道路紹介ホームページをリンク
国見町	・国見町ホームページに復興道路紹介ホームページをリンク





# 「復興道路等を活かした地域振興策，地域づくり事例」

## 宮城県



## 宮城県震災復興計画

(H23～H32) : 本県の10年間の復興施策等

復旧期  
H23～25年度  
(3箇年)

再生期  
H26～29年度  
(4箇年)

発展期  
H30～32年度  
(3箇年)

### 復興のポイント(1) 災害に強いまちづくり宮城モデルの構築

#### ○「命の道」となる道路の整備促進

先の震災において、救急救命活動や緊急物資輸送など重要な役割を果たした三陸縦貫自動車道や常磐自動車道について整備促進を加速的に図るとともに、半島部などの集落をつなぐ国道や県道についても災害に強い道となるよう整備を進める。

### 復興のポイント(4) ものづくり産業の早期復興による「富県宮城の実現」

#### ○事業継続を支える物流基盤の強化

高速道路の整備促進や空港・港湾・鉄道など広域物流拠点の早期復旧と防災・減災機能を強化した物流基盤を構築し、県内のみならず東北全体の連携を強化する。

### 復興のポイント(5) 多様な魅力を持つみやぎの観光の再生

観光情報の発信や、交通インフラの復旧・充実を図るとともに、DC(デスティネーションキャンペーン)等の観光キャンペーンの実施、インバウンド(外国人旅行客の誘致)への対応強化、新たな観光ルートの構築、震災の経験を生かした観光振興の取組等を推進し、多様な魅力を有するみやぎの観光を再生

## 社会資本分野の部門別計画である宮城県社会資本再生・復興計画(H23～H32)

基本目標3: かつてない賑わいや活力に満ちた東北の発展と宮城の飛躍を支える交流・産業基盤の整備

### 1) 東北の発展を支える基幹的社会資本整備の加速的推進

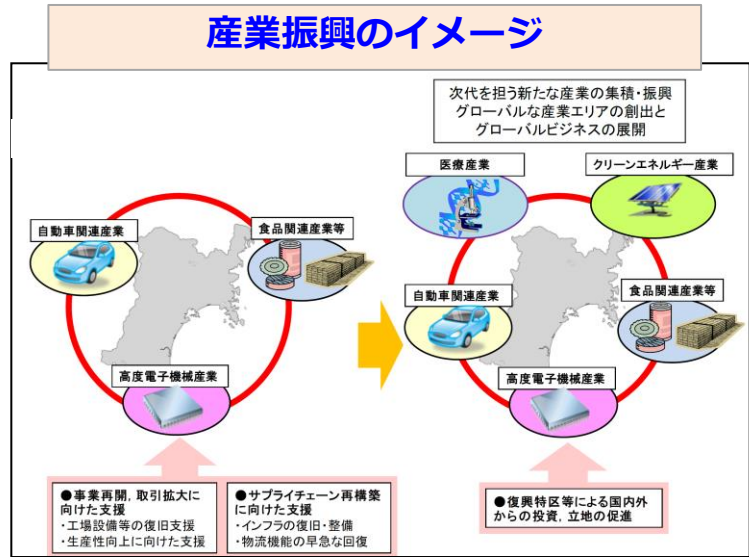
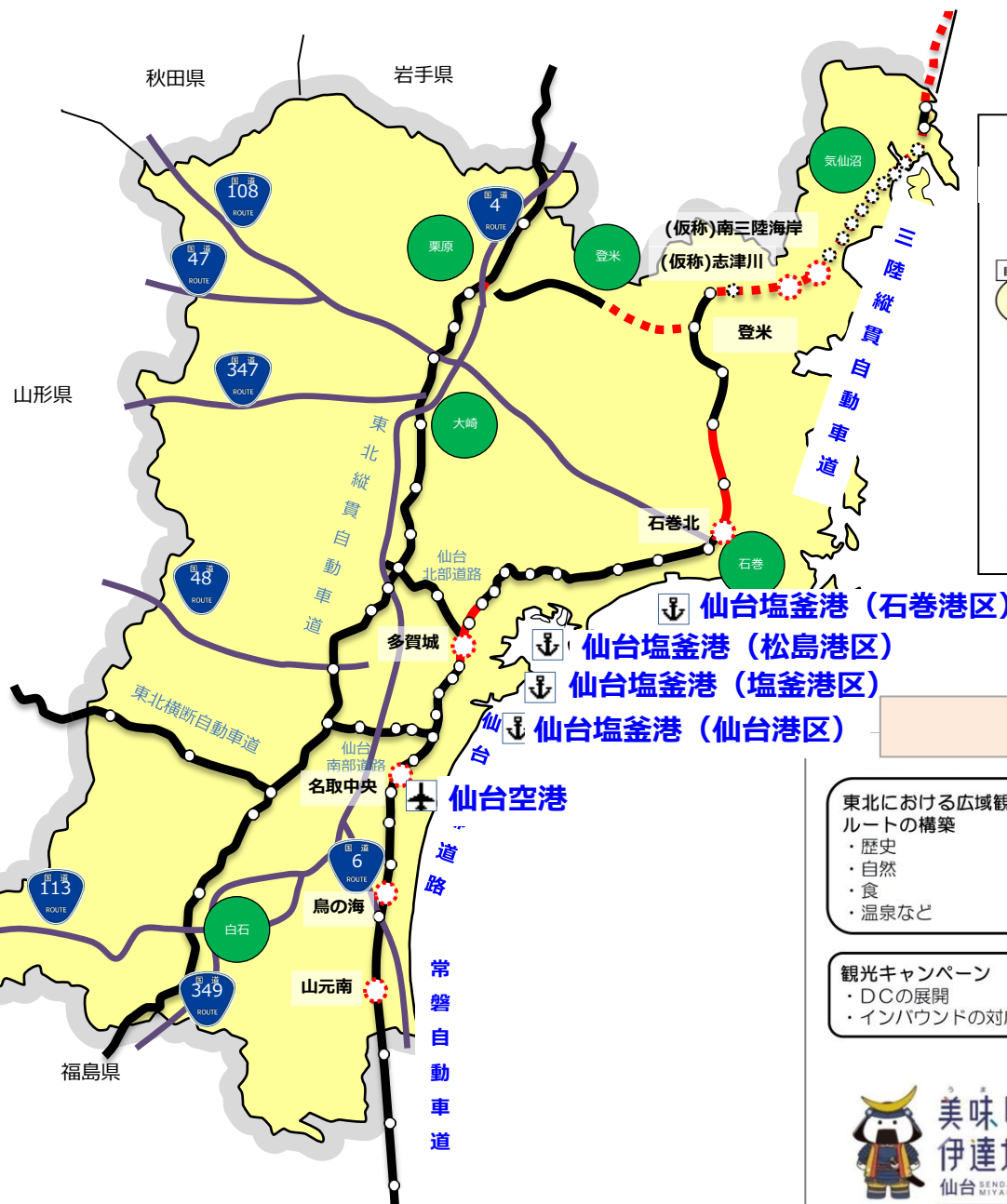
復興の原動力となる県内立地企業の経営安定化を図り、県内産業の競争力をさらに強化するために、また、今後新規に立地する企業活動を支えるために、県土全域又は県土を越えて効果の発現が期待され、将来にわたり県土の持続的発展に大きく寄与する基幹的な社会資本整備を加速的に推進する。

- ① 県土の骨格となる高速道路網の整備 ⇒ 県土の骨格を形成する高規格幹線道路による高速交通網の整備を促進
- ② 海上広域物流拠点 ⇒ 東北唯一の国際拠点港湾である仙台塩釜港の利用促進を図るための施策展開
- ③ 国際空港の利便性の向上と拠点化の推進 ⇒ 仙台空港の利用促進や空港を核とした臨空都市の整備促進

### 2) 地域の発展を支える核となる社会資本整備の推進

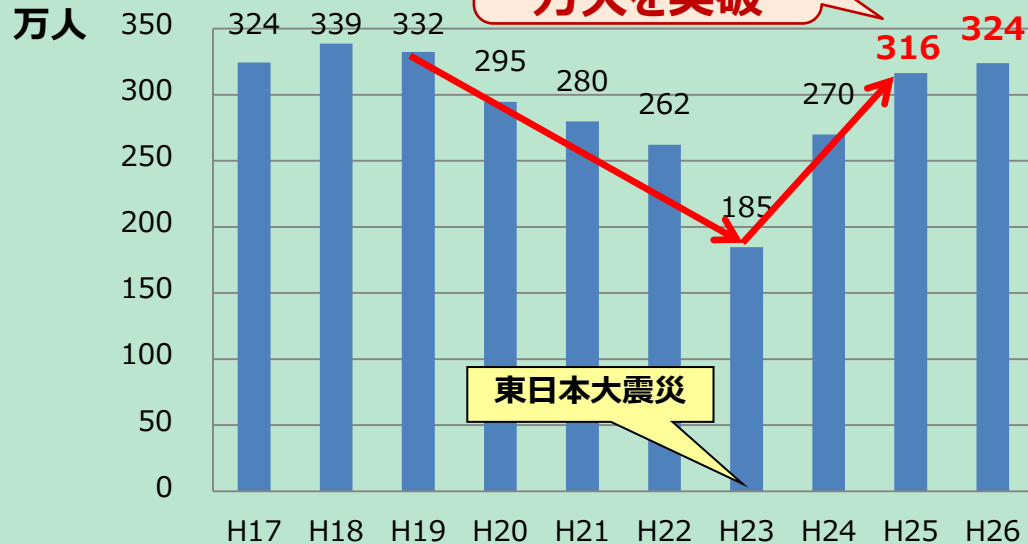
県内地域の復興と持続的発展に資する地域の核となる基盤施設の整備を推進する。

- ① 広域道路網の整備 ⇒ 地域高規格道路など広域道路網の整備を推進
- ② 離島の復興を牽引する基盤施設の整備 ⇒ 気仙沼大島の復興、住民の生活環境を確保するため架橋事業を着実に推進
- ③ 産業集積を促進するための基盤整備事業 ⇒ 未利用地の産業集積地への転換を促進、企業立地基盤の整備を推進



## 仙台空港の旅客動向

6年ぶりに300万人を突破



- 世界的な経済不況等により平成20年度以降大きく減少
- 震災の影響で185万人まで減少
- 平成24年度は平成22年度の水準まで回復
- 平成25年度は、316万人が利用し、**6年ぶりに300万人を突破**

出典：仙台空港統計資料（H26の数値は速報値）

## 東北のグローバルゲートウェイ

現在、仙台空港は抜本的な機能向上に向けて、国が進める空港経営改革の動きに合わせ、民活空港運営法に基づく国管理空港**民営化空港第一号**を目指している。

効率的な運営により、新規路線や便数が増え、さらに利便性が高まることが期待される。

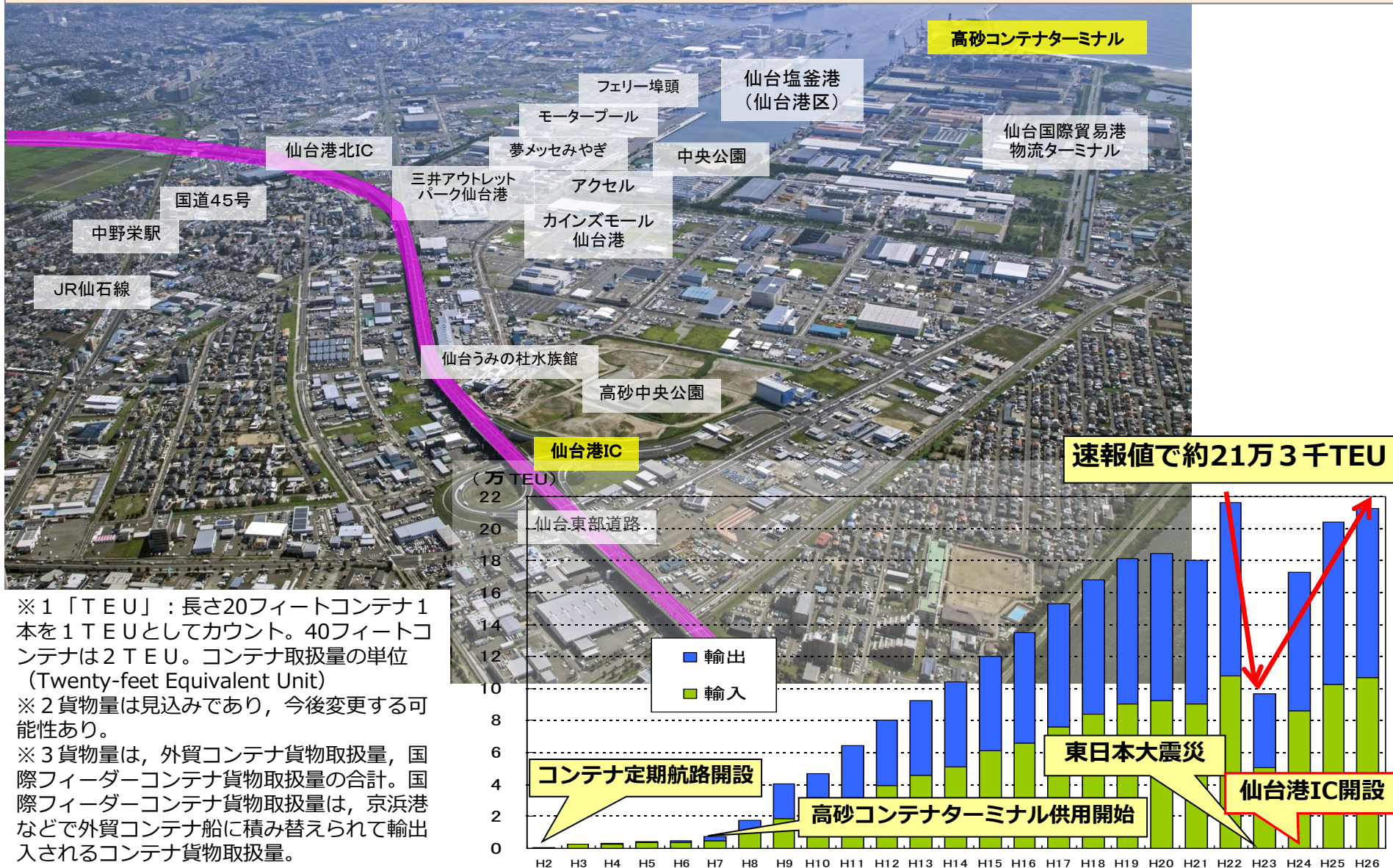
併せて、周辺地区の土地利用が図られることも期待される。



# ④ 仙台港の動向

平成26年の仙台塩釜港コンテナ貨物取扱量は、速報値で約21万3千TEUを記録し、平成25年と比較して約**105%**、震災前の平成22年と比較して約**99%まで回復**する見込み（※）。

21万TEU台を記録するのは、コンテナ貨物の取扱いを始めてから、平成22年を含めても2度目であり、過去2番目の取扱量。



# ⑤ 高速道路網を活用した自動車関連企業の連携

## 北上市

トヨタ紡績東北(株)本社

## 金ヶ崎町

トヨタ自動車東日本(株)岩手工場  
トヨタ紡績東北(株)岩手工場  
豊田合成東日本(株)岩手工場

## 栗原市

太平洋工業(株)栗原工場・若柳工場  
豊田合成東日本(株) (TG東日本)  
(大崎市から本社移転予定)

## 大衡村

トヨタ自動車東日本(株)本社  
トヨタ紡績東北(株)宮城工場

## 大和町

トヨタ自動車東日本(株)宮城大和工場  
プライムアースEVエナジー(株)

## 登米市

トヨタ東北(株)  
名古屋東部陸運(株)



トヨタ自動車の進出決定を契機として、平成22年3月に仙台北部道路により東北縦貫道と三陸縦貫道が連結完了、平成22年12月には宮城県が事業主体となり大衡ICを供用するなど、『富県みやぎ』の実現に向けて、道路ネットワークが着実に強化されてきた。

平成23年6月に当時のセントラル自動車宮城支店が宮城県に本社移転。その後、平成24年7月に当時の関東自動車(金ヶ崎町)に吸収される形で、現在のトヨタ自動車東日本となった。

トヨタ自動車関連では、大衡村、大和町、栗原市及び登米市の関連工場が連携しているほか、岩手県の関連工場も含めて一大自動車産業地帯を形成しており、**高規格道路が大いに利活用**されている。

自動車産業の裾野は広く、多数の関連企業・取引企業も含め、**雇用拡大や定住化促進**など地元経済への影響は計り知れない。

今後、三陸縦貫道の整備促進により、**新たな企業進出や企業連携の展開**などが大いに期待される。

凡	例
高速自動車国道	一般国道自動車専用道路
—— 供用区間	—— 供用区間
..... 事業中区間	..... 事業中区間
高速自動車国道に並行する一般国道自動車専用道路	地域高規格道路
—— 供用区間	—— 供用区間
..... 事業中区間	..... 事業中区間





# ⑦インター付近に集中する企業立地 (平成25年4月以降に操業開始した企業)

## 凡例

- ★ ICから概ね10分圏内の企業
- ★ ICから概ね10分圏外の企業
- 主な工業団地(分譲中)
- 主な工業団地(造成中及び予定)

平成25年度以降に操業開始した企業 [31件] のうち, IC周辺に位置する企業は [24件] で, 全体の約77%を占める

24件 / 31件 = 約77%

消化器製造業<栗原市> H25.5

自動車関連部品製造業<登米市> H26.1

樹脂枠窓製造業<大崎市> H26.8

自動車関連部品製造業<色麻町> H25.6

住宅用陶板外壁業<色麻町> H25.9

鉄鋼系プレハブ製造業<大衡村> H25.10

自動車関連製造業<大衡村> H25.12

自動車関連製造業<大衡村> H26.1

新聞印刷業<大和町> H27.3

食品加工業<富谷町> H26.10

住宅機器の物流取扱業<名取市> H26.8

食品加工業<川崎町> H25.10

航空機部品製造業<名取市> H25.4

住宅用鋼材製造業<白石市> H25.10

日用品卸業<白石市> H25.9

自動車関連製造業<角田市> H26.4

ステンレス建具製造業<丸森町> H25.10

食品加工業<登米市> H26.5

医療・健康関連製品製造業<大和町> H26.9

食品加工業<塩釜市> H26.2

食品加工業<石巻市> H25.8

自動車関連部品製造業<利府町> H26.10

食品加工業<仙台市> H26.7

飲料製造業<仙台市> H25.6

食品加工業<仙台市> H26.12

食品加工業<仙台市> H26.6

海産物加工業<名取市> H26.5

パン製造業<名取市> H26.6

弁当製造業<亶理町> H26.1

建設資材(塩ビ管)製造業<亶理町> H27.3

食品加工業<亶理町> H26.7





# ⑨新産業（国際リニアコライダー）の誘致

■国際リニアコライダー（ILC：International Linear Collider）は、電子とその反粒子である陽電子を超高エネルギーで正面衝突させ、**宇宙の始まり（ビッグバン）から1兆分の1秒後の状態を人為的に再現**

■約30 km～50 kmの直線形、深さ約100 mの地下に設置

衝突によって生成されるさまざまな粒子を測定、解析し未知の素粒子発見など物理理論を究明



## 地域振興面

- ILCの運用定常時で約1万人、東北の人口流出の傾向に歯止め
- 世界との交流による文化・意識面での「真の国際性」の涵養
- サイエンス・コミュニケーション活動と東北の「科学技術教育水準」の向上
- ILCを新たな観光資源とする「東北サイエンス・ツーリズム」の活発化
- 東北の都市・地域構造の再編と「イノベーション・コリドー」の形成

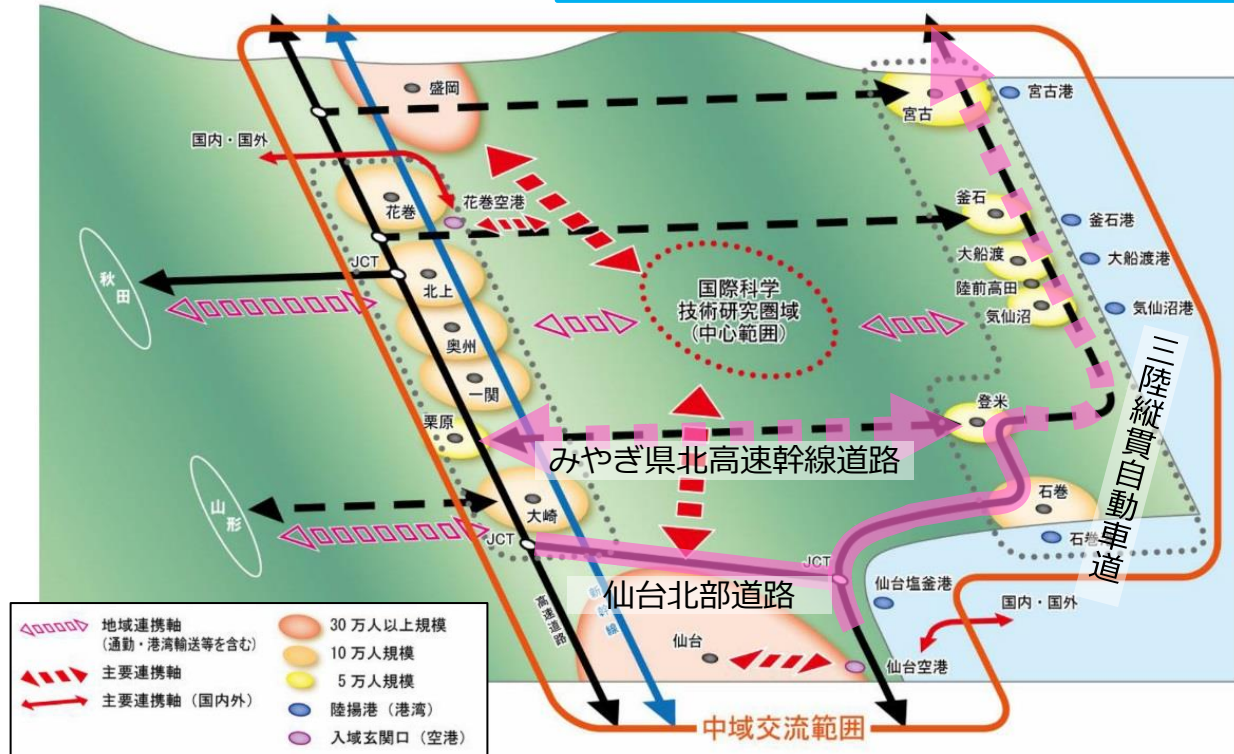
## 雇用創出・人材育成面

- 東北産業へ大きな雇用創出効果が発生  
建設から運用の30年間で、約25万人分（全国ベース。年平均で約8,300人/年）の雇用発生
- 東北において高度産業人材の育成・集積  
東北の加速器技術、新産業分野の研究者・技術者の能力向上、域外から研究者・技術者の流入定着などにより、高度産業人材の育成・集積が進展
- 新産業イノベーションと「東北ブランド」の形成による雇用機会の発生
- 全体として東北の「雇用力」（人材力と雇用機会力）の飛躍的高まり

## 産業振興・革新面

- 東北産業へ大きな経済波及効果  
建設から運用の30年間で、約4.3兆円の生産誘発額が発生（技術・産業のイノベーション効果含まず）
- 東北の産業における技術・産業革新（イノベーション）の促進
- 先端科学技術・産業集積地域としての新たな「東北ブランド」の形成
- 成長力の高い先端科学技術産業の東北への集積の加速化

東北において誘致活動が行われている国際リニアコライダー（ILC）は、年平均で約**8,300人の雇用発生**が見込まれており、これまでにない雇用創出・高度産業人材の育成・高度技術の集積効果があると言われている。  
ILCが誘致された場合、高規格幹線道路は、**高度先端産業を支援する**という重要な役割を果たすものである。



(1) 観光入込数

単位：万人

市区町村名	H21	H22	H23	H24	H25
仙台市	1,937	1,979	1,621	1,855	1,867
仙台都市圏	3,663	3,696	2,602	3,181	3,412
<b>宮城県</b>	<b>6,120</b>	<b>6,129</b>	<b>4,316</b>	<b>5,208</b>	<b>5,569</b>

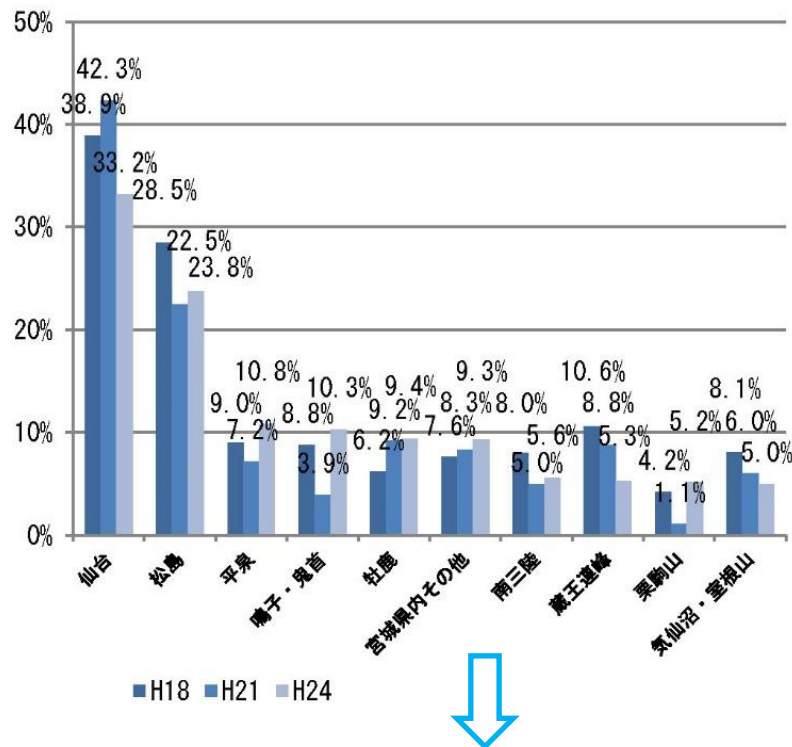
91%まで回復

(2) 平成29年の観光入込数値目標

平成29年の数値目標	現況値 (平成24年)	目標値 (平成29年)
① 観光客入込数	5,208万人	6,700万人
<b>② 沿岸部（気仙沼・石巻地域）の観光客入込数</b>	<b>415万人</b>	<b>805万人</b>
③ 宿泊観光客数	888万人	900万人
<b>④ 沿岸部（気仙沼・石巻地域）の宿泊観光客数</b>	<b>38万人</b>	<b>60万人</b>
⑤ 外国人観光客宿泊者数	7.5万人	16万人
⑥ 観光消費額	4,058億円	6,000億円
⑦ 観光客（県外客）に対するアンケート調査での宮城県への再訪問意思率	-	99%

- (1) 観光入込客数は東日本大震災の影響により大幅に減少したが、平成25年では平成22年と比較して、宮城県全体で**91%まで回復**している。
- (2) 県では、平成29年の気仙沼・石巻方面の入込目標値を805万人 = **平成24年の1.9倍**としている。
- (3) また、県内の主要観光地点でアンケート等により実施した「宮城県観光動態調査」結果では、**自家用車利用が全体の約7割**を占めており、観光誘致を図る上で、**高規格幹線道路の整備促進が必要不可欠**である。

(3) 県内立ち寄り先・主な交通手段  
立ち寄り先の地名



主な交通手段（複数回答）

	H18	H21	H24
<b>1位</b>	<b>自家用車 66%</b>	<b>自家用車 70.8%</b>	<b>自家用車 72.1%</b>
2位	新幹線 12.4%	新幹線 13.8%	新幹線 11.6%
3位	貸切バス 9.1%	鉄道 7.0%	その他 10.4%
4位	鉄道 6.8%	貸切バス 5.9%	鉄道 8.2%

資料：第3期宮城観光戦略プラン（H26.3月、宮城県）  
※単位：構成比(%)は、「宮城県観光動態調査」によるサンプル数（人ベース）により算出

## (4) 取組事例

### 復興ツーリズム

沿岸部と内陸部を繋ぎ、語り部体験や被災地、復興商店街を回り復興の現状について学ぶとともに、食や自然景観、温泉などの既存の魅力も楽しんでいただく復興ツーリズムの振興を行っている。

- みやぎ観光復興支援センターの運営
- 語り部の育成
- 復興ツーリズムのPR(札幌、東京、名古屋、大阪、福岡) など



語り部ガイド

### 外国人観光客の誘致

震災や原発事故による風評を払拭し、外国人観光客の回復を図るため、東北観光推進機構や東北各県などとの広域連携により外国人観光客の誘致に取り組んでいる。

- 観光博覧会への出展(KOTFA, ITE, BITE, ITF)
- 旅行会社・メディアの招請事業 など



海外旅行会社等の招請

### 慶長遣欧使節出帆400年記念イベント

復元船を展示している「宮城県慶長使節船ミュージアム(通称:サン・ファン館)」が再開したほか、記念フォーラムやコンサートなどのさまざまなイベントが行われた。

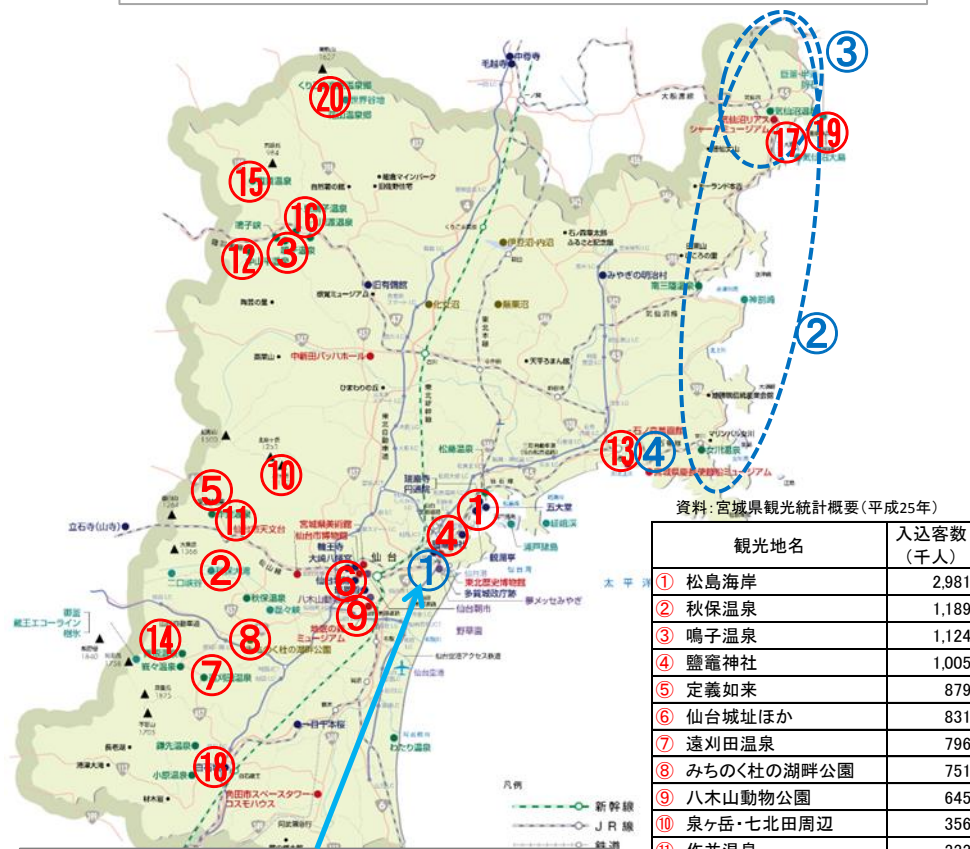


展示再開した復元船



記念フォーラム

【参考】H25年 県内の観光地入込客数上位20箇所



資料:宮城県観光統計概要(平成25年)

観光地名	入込客数(千人)
① 松島海岸	2,981
② 秋保温泉	1,189
③ 鳴子温泉	1,124
④ 鹽竈神社	1,005
⑤ 定義如来	879
⑥ 仙台城址ほか	831
⑦ 遠刈田温泉	796
⑧ みちのく杜の湖畔公園	751
⑨ 八木山動物公園	645
⑩ 泉ヶ岳・七北田周辺	356
⑪ 作並温泉	333
⑫ 中山平温泉	170
⑬ 日和山	167
⑭ えぼしスキー場	156
⑮ リゾートパーク鬼首	114
⑯ 東鳴子温泉	112
⑰ 気仙沼大島	111
⑱ 白石城周辺	110
⑲ 唐桑半島	101
⑳ イワカガミ平(栗駒山)	80

★震災後、新たに期待される観光資源

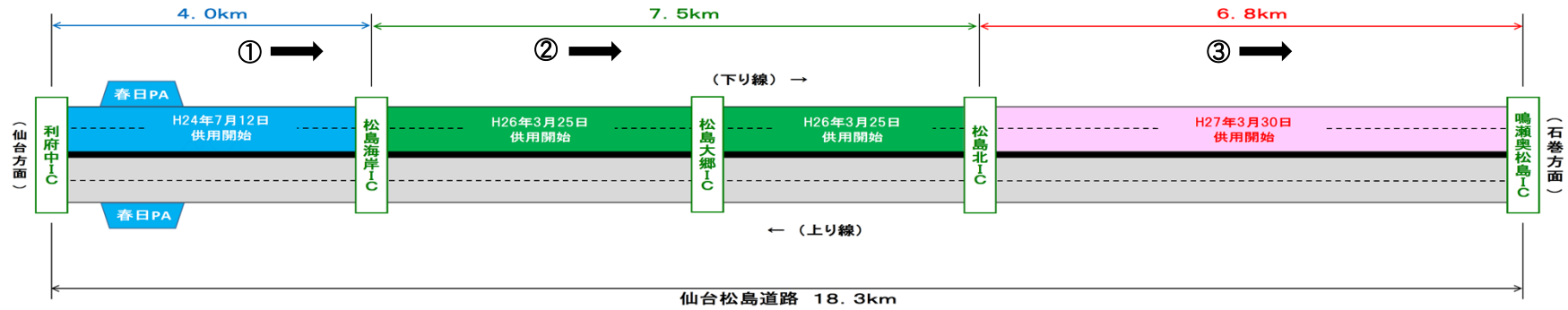
- ① 仙台うみの杜水族館
- ② 三陸復興国立公園  
(※みちのく潮風トレイルの長距離歩道整備計画)
- ③ 三陸ジオパーク
- ④ 三陸復興祈念公園

今年7月1日に開業予定の**仙台うみの杜水族館**は、初年度9か月間で**100万人**の来場者を見込んでおり、仙台港ICに隣接していることから、**仙台東部道路・三陸道の利便性**が大いに発揮されるものと想定される。

# 仙台松島道路 整備効果

1. 4車線供用前後の状況
2. 4車線供用前後の交通量の状況
3. 4車線供用前後の渋滞の状況(渋滞回数)

# 1. 4車線供用前後の状況



①利府中IC～松島海岸IC間  
(平成24年7月12日供用)



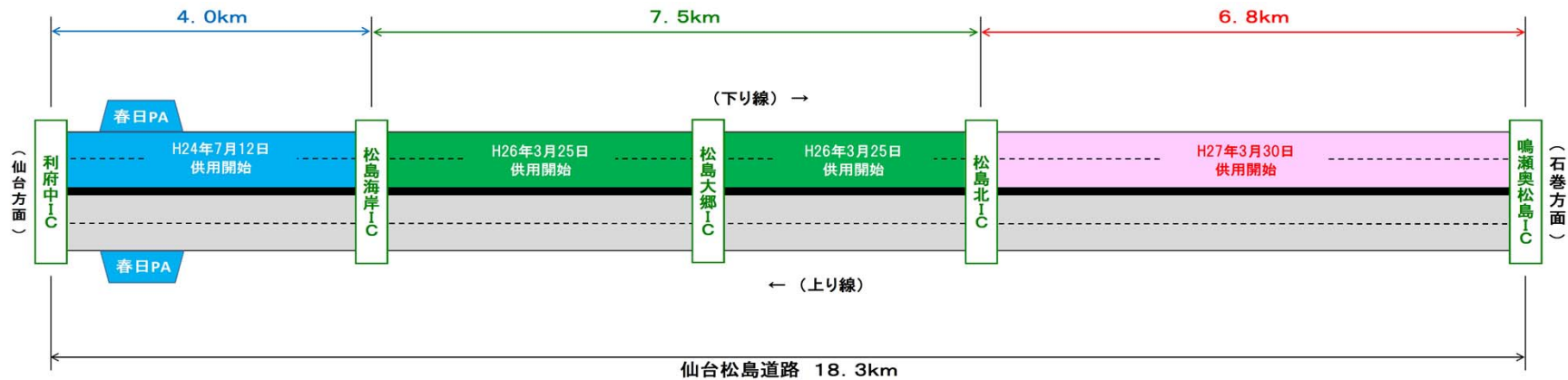
②松島海岸IC～松島北IC間  
(平成26年3月25日供用)



③松島北IC～鳴瀬奥松島IC間  
(平成27年3月30日供用)



## 2. 4車線供用前後の交通量の状況

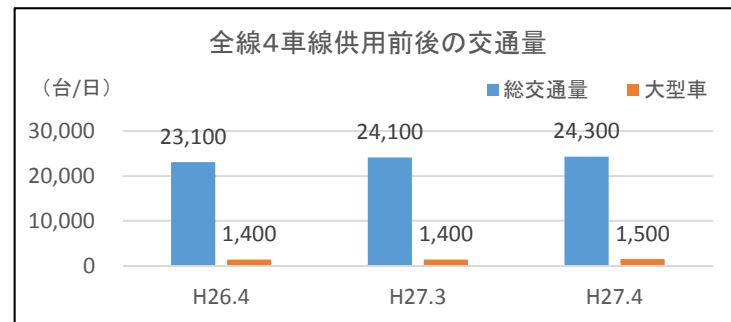


全線4車線供用前後の交通量

(台/日)

車種区分	H26年4月 (A)	H27年3月 (B)	H27年4月 (C)
総交通量	23,100	24,100	24,300
前年同月比 (C/A)			105%
前月比 (C/B)			101%
総交通量	1,400	1,400	1,500
前年同月比 (C/A)			107%
前月比 (C/B)			107%

※ 鳴瀬奥松島本線料金所の日平均出入り交通量



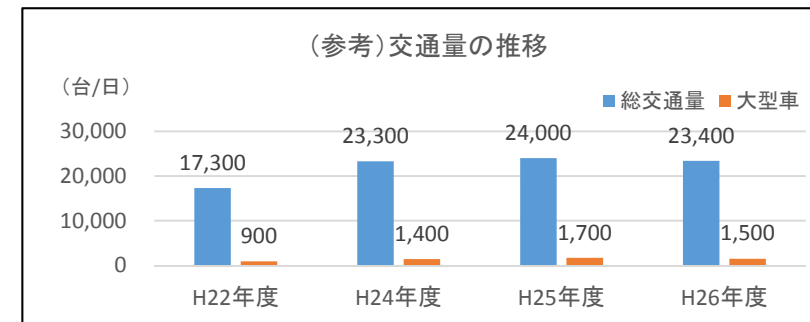
○全線4車線供用前後の総交通量は、前年同月比で5%、前月比で1%の増加。  
大型車は、いずれも7%の増加。

(参考)交通量の推移

(台/日)

車種区分	震災前	震災後		
	H22年度	H24年度	H25年度	H26年度
総交通量	17,300	23,300	24,000	23,400
H22度比		135%	139%	135%
前年度比			103%	98%
うち大型車	900	1,400	1,700	1,500
H22度比		156%	189%	167%
前年度比			121%	88%

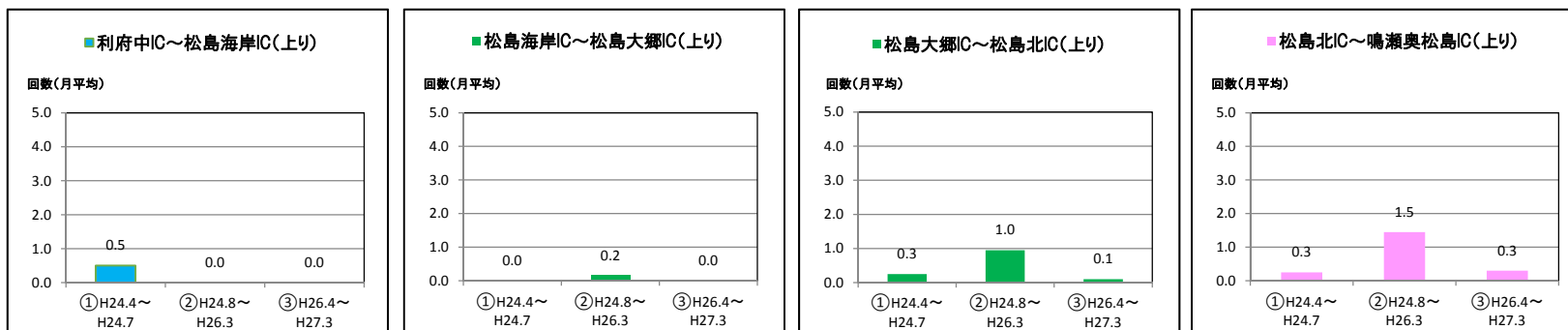
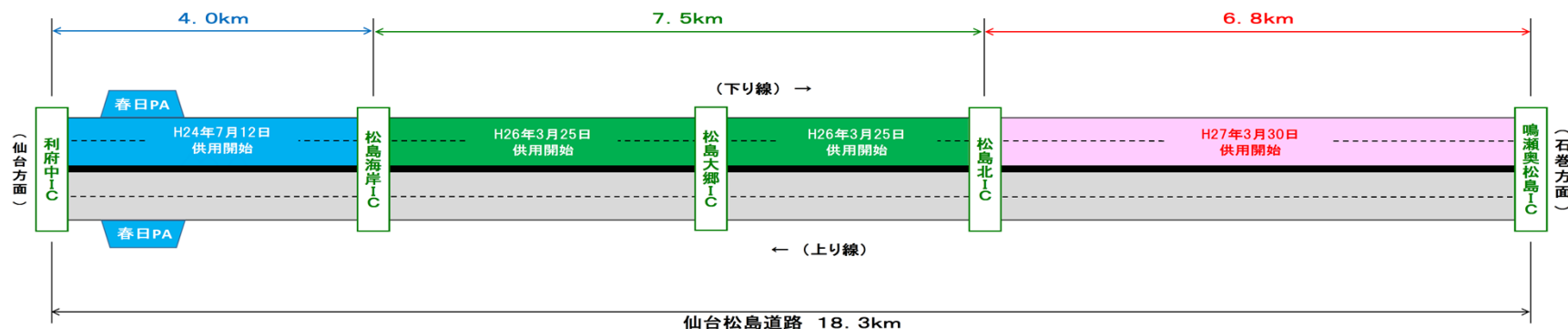
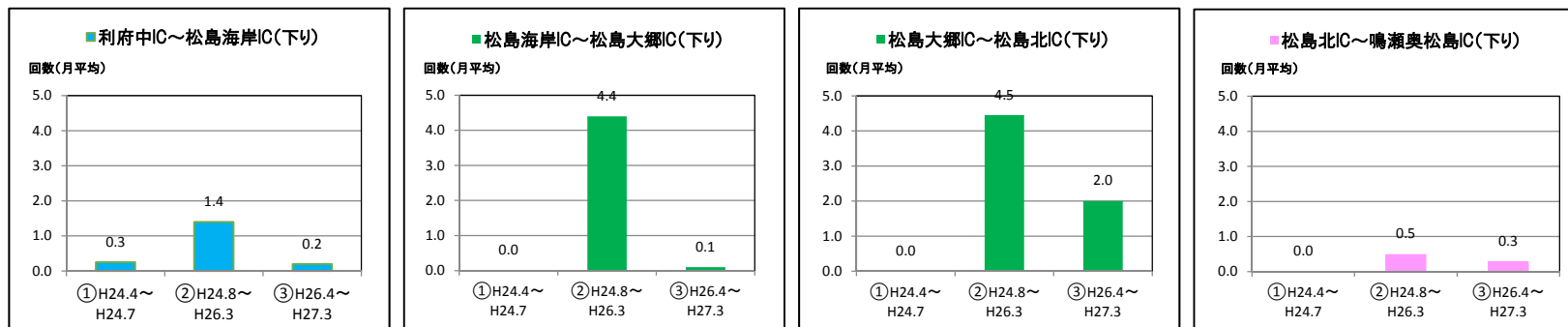
※ 鳴瀬奥松島本線料金所の日平均出入り交通量



○震災後は震災前に比して平均36%増で推移。  
大型車は増加が著しく、平均70%増で推移。



### 3. 4車線供用前後の渋滞の状況（発生回数）



- 松島海岸IC～松島北IC間供用（H26.3.25）前は下り線で渋滞が多く発生したが、供用後はかなり減少。
- 全線4車線供用（H27.3.30）後、渋滞は発生していない。

# 常磐自動車道の整備効果

平成27年6月4日

東北支社 建設事業部

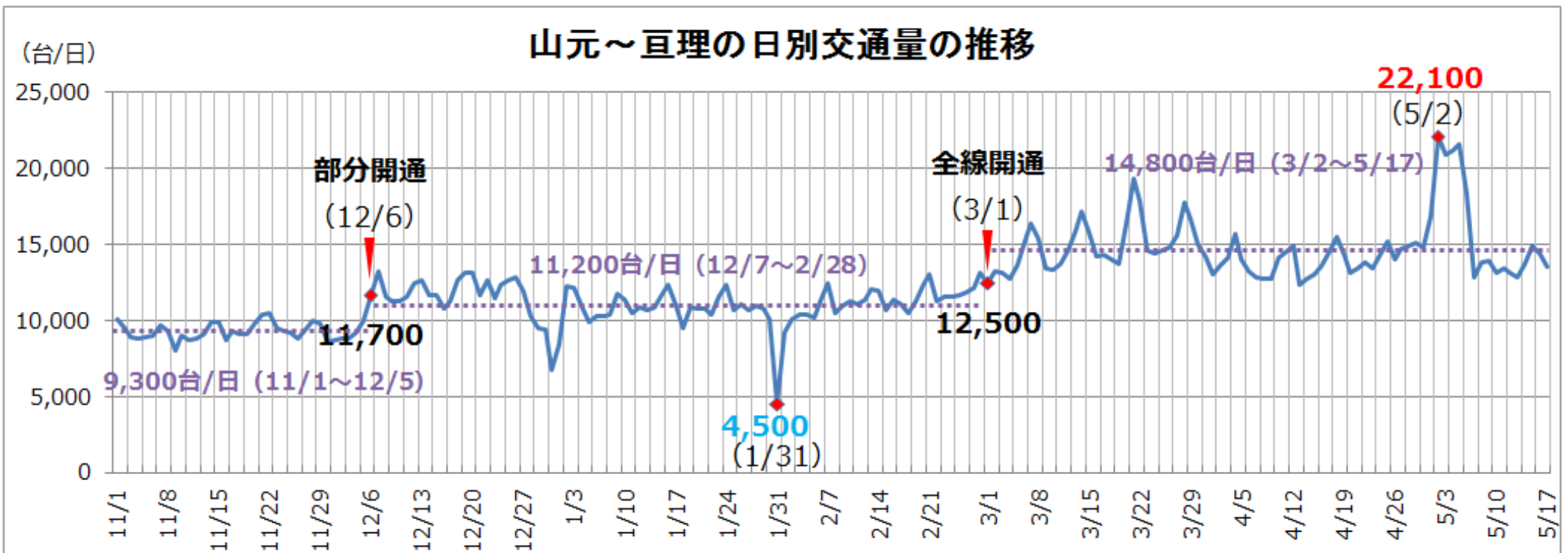






# 1. 常磐道全線開通後の交通状況（開通済み区間交通量の推移）

- 開通済みであった山元～亶理間は、新規開通により交通量が増加
- 常磐富岡～山元間の開通前と比べ最大で約2倍に増加



## 2. 時間短縮による企業活動への支援

- 常磐道利用による輸送距離の短縮、営業拠点間の利便性向上
- 常磐道開通により復興事業に従事する方々の通勤の負担が軽減

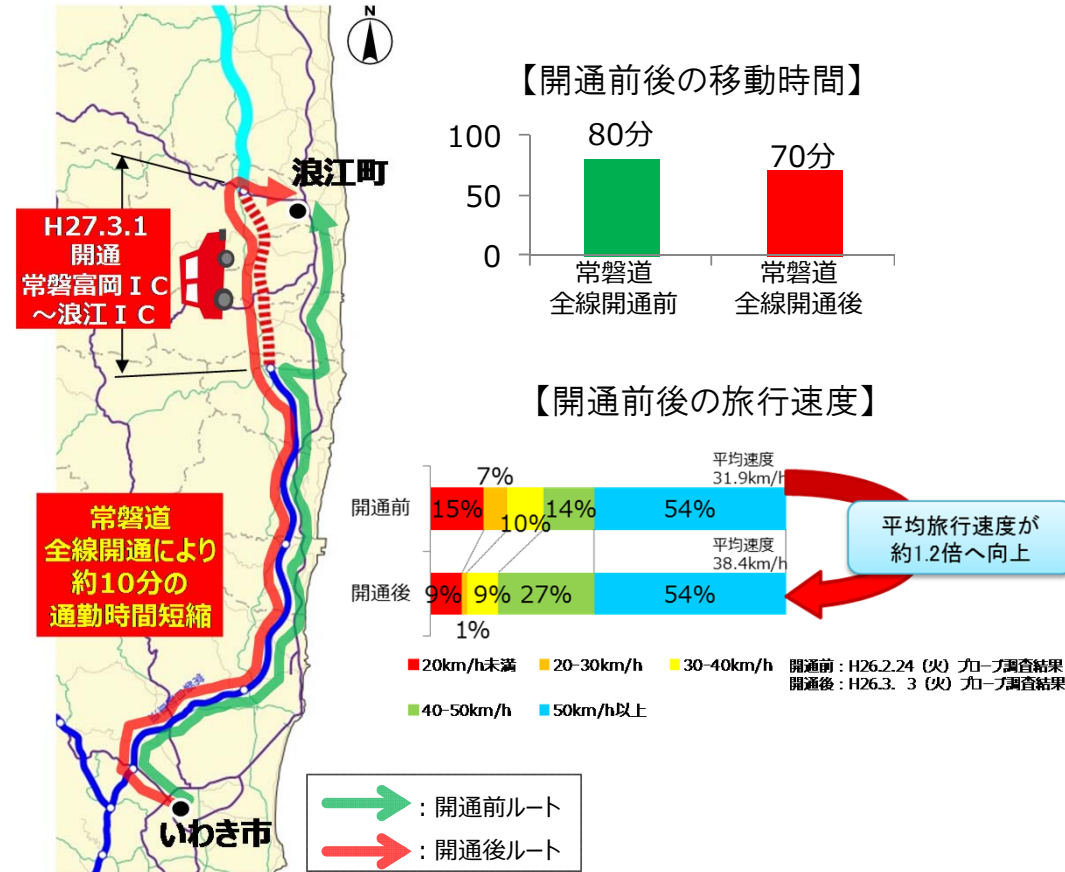
### ▼いわき市～仙台市間を走行した場合の距離、時間



#### ■ 企業の声（自動車部品販売企業）

- ・常磐道の開通によって、行き来しやすくなったことから、**営業活動も週1～2回ほど増え、効率化が図られた。**
- ・常磐自動車道は、**東北自動車道に比べて、勾配やカーブが少なく、大変走りやすい道路と実感している。**

### ▼いわき市～浪江町間を走行した場合の時間

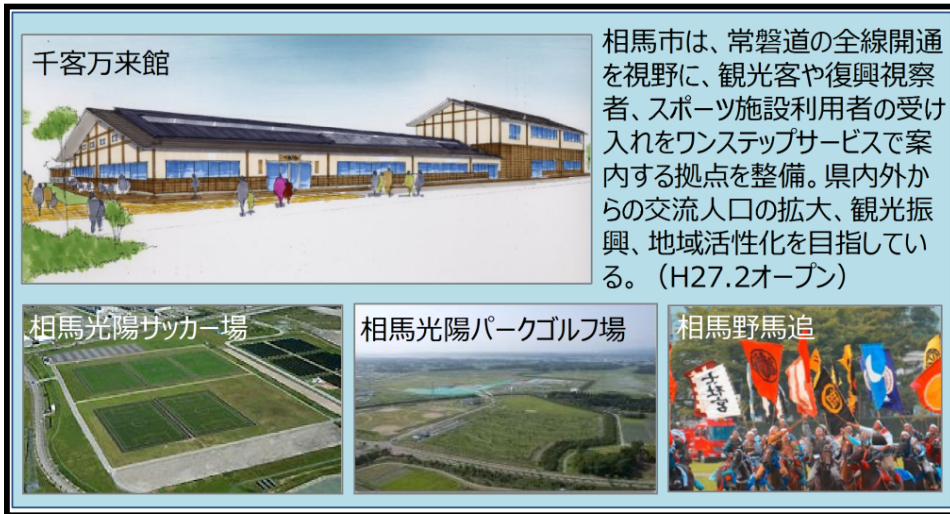


#### ■ 復興事業者の声（通勤関連）

- ・浪江町の復興現場への通勤者は約500人。その多くはいわき市から時間をかけて通勤している。常磐道を通勤ルートとして利用でき、**作業員の通勤負担が軽減した。**

### 3. 常磐道沿線地域における観光の活性化（観光施設の声）

- 常磐道の全線開通により周辺観光地への利便性が向上、観光・交流が活性化
- イチゴ農家は首都圏への出荷販路拡大に期待
- 点から面的な観光ネットワークの形成に期待



#### ■ 千客万来館関係者の声

・GWには今年が初となる女子小学生の東北大会が相馬光陽サッカー場で開催されるなど、4月以降、サッカー大会などの申込みが増えている。

#### ■ 宿泊施設関係者の声

・お彼岸のお墓参りで関東から（宿泊に）来られるお客様のほとんどが「常磐道を通ってきたよ」と言っていた。

#### ■ 観光協会関係者の声

・4月から東京と相馬を結ぶ高速バスが運行されるので、観光客を呼び込みやすい環境が整いつつあり、これも常磐道の開通効果と実感している。



#### ■ イチゴ農家関係者の声

・集客は1～1.5割増、福島や関東ナンバーが増えた。  
・4月から成田（海外）に向けて、試行マーケティングを考えている。  
・関東への商談にも力を入れていく。

#### ■ 四倉PA店長の声

・常磐道全線開通前は復興事業に関わるお客さまが食事に立ち寄っていたが、全線開通後は、県外からの家族連れのお客さまも多くなり、ショッピングコーナーでのお土産の購入が目立つようになった。

# 4. 常磐道と東北道によるダブルネットワークを形成

- 東北道における災害等の緊急時の代替ルートとしての機能を構築
- 常磐道を東北道と比べて降雪が少なく、冬季の安定的な交通を確保

## ▼東北道(福島市)・常磐道(いわき市小名浜)の降雪状況の比較



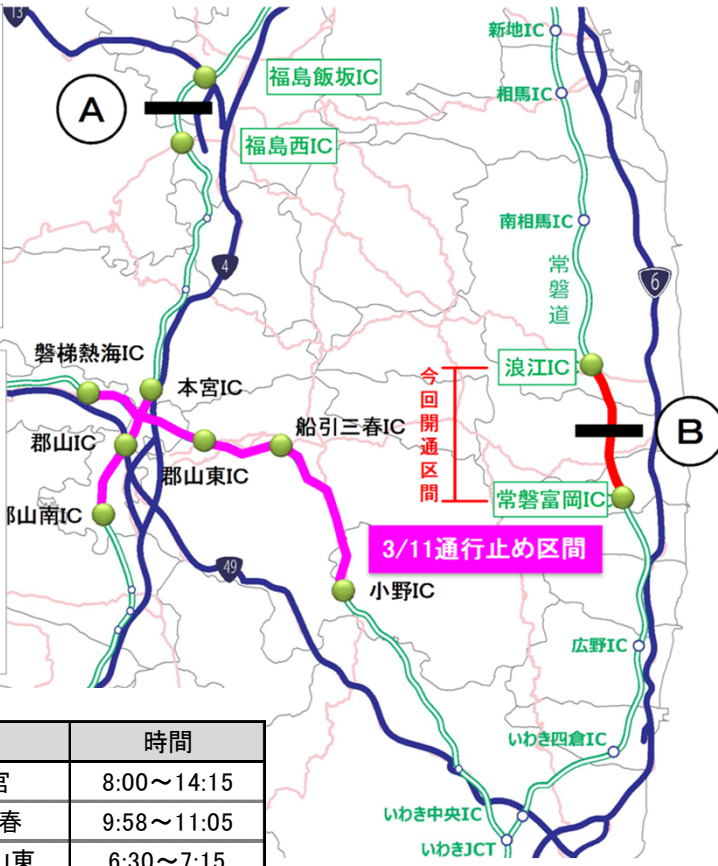
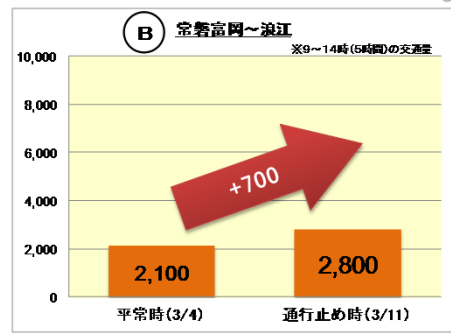
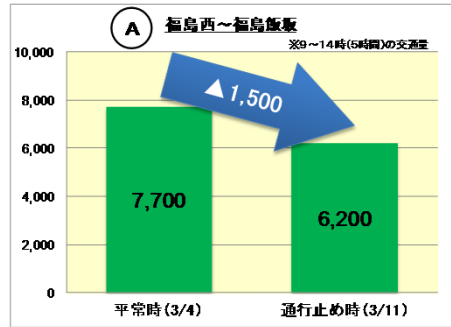
福島市 (福島気象台)  
 年間平均降雪日数 : 73日/年  
 10年最大積雪深 : 54cm  
 年間平均降雪深 : 129cm

いわき市 (小名浜気象台)  
 年間平均降雪日数 : 21日/年  
 10年最大積雪深 : 7cm  
 年間平均降雪深 : 2cm

東北道と比べ常磐道を通る地域では

**降雪日数が約1/3倍**

## ▼3月11日の大雪による通行止め時の交通状況



### 【3/11通行止状況】

道路名	区間	時間
東北自動車道	郡山南～本宮	8:00～14:15
磐越自動車道	小野～船引三春	9:58～11:05
磐越自動車道	船引三春～郡山東	6:30～7:15
磐越自動車道	郡山東～磐梯熱海	8:50～14:15

常磐道の交通量は平常時に比べ700台増加

※5時間交通量 (9時～14時)



# 5. 新たな高速バス便が新設

■ 常磐道の全線開通を契機に相馬・南相馬～東京間の高速バスが4月1日より運行を開始

## 高速バス新設概要

- ・運行開始日：平成27年4月1日予定
- ・運行便数：1日1往復
- ・所要時間：約5時間
- ・料金：片道4,500円（東京～相馬）
- ・運行会社：(株)桜交通(本社：福島県白河市)

高速バス運行開始式（4/1）



### ■ バス事業者の声

- ・当初東北道ルートを検討していたが、常磐道の全線開通が早まったことや、沿線自治体からの強い要望もあり、常磐道ルートでの高速バスの運行を決めた。
- ・今後はこの相馬・南相馬～東京間の利用状況などを見て、増便の検討や仙台～東京間について、常磐道経由への移行も考えたい。



最初の整備計画から44年。 おかげさまで、全線開通！

NEXCO

◆ 平成26年12月6日  
浪江～南相馬間、相馬～山元間開通



開通式典



南相馬～仙台間高速バス

◆ 平成27年3月1日  
常磐富岡～浪江開通  
【常磐道全線開通】



開通式典



開通後の交通状況(双葉町内)

ご清聴ありがとうございました



Future From Fukushima.

あなたに、ベスト・ウェイ。

# 防災機能を兼ね備えた石巻市総合運動公園

## ●施設概要

- 本運動公園は立地特性を生かし、平常時は緑につつまれた市民の憩いとスポーツ活動による交流の場として、また、災害時には住民の避難・救援活動として機能する公園づくりを目的として、快適で豊かな生活文化を育むとともに、安心して住めるまちづくりの実現を目指しています。
- 導入施設として、全体面積39.2haのうち、北ブロックについては、フットボール場、野球場、ふれあいグラウンド、やすらぎ広場が既に完成しており、今後、陸上競技場の整備を計画しており、南ブロックについては、現在、サッカー場、ラグビー場、テニスコート、子ども広場・健康広場、多目的広場等を整備しているところがあります。



### ●北ブロック

- ふれあいグラウンド（整備済み）
- フットボール場（整備済み）
- やすらぎ広場（整備済み）
- 野球場（整備済み）
- 交流広場（整備済み）
- 駐車場（整備済み）
- 陸上競技場（整備予定）

### ●南ブロック

- 多目的広場(ヘリポート)（整備中）
- 多目的グラウンド（整備中）
- テニスコート（整備中）
- 子ども広場、健康広場（整備中）
- 遊具広場（整備中）
- 駐車場（整備中）

## ●救援・復旧ゾーン

負傷者の救護や被災地での復旧活動の支援が行われ、また、その活動に従事する人々が滞在するゾーン



自衛隊・消防隊・ボランティア等の救援復旧活動に従事する人々の滞在拠点として機能する。

## ●物資等集積・輸送ゾーン

避難生活、救援・復旧活動に必要な物資等の集積・輸送のよう供するゾーン



緊急輸送用ヘリポートとして機能する。

災害時にはテントを張って雨風を避けて安全な空間を確保できる災害時対応型パーゴラ

## ●三陸縦貫自動車道の整備により期待される効果

- 今年の秋に開通が予定されている（仮称）石巻北ICからは、国道398号北部バイパスを経由し、わずか2km、4分。石巻河南ICからは2km、約7分の短縮。  
 （渋滞を考慮した場合、約14分短縮）
- 国道45号から国道398号北部バイパスへの右折レーンの渋滞が解消。
- これまでも、ラグビー場、野球場は東北大会や県大会など、サッカー場はシニアリーグ等の試合やなでしこリーグも開催されており、運動公園の整備完成に伴い、三陸道路の整備延伸や4車線化と併せて、施設の開催試合が増え、観客増員と圏域への経済効果が期待される。

## ●避難ゾーン

住民の一時避難スペースであり、避難者への支援活動が行われるゾーン



テントを張り、避難生活を送るほか、防災用パーゴラを設けて避難ゾーンの拠点として機能する。  
 特に陸上競技場は乳幼児・高齢者・妊婦・障害者・負傷者等を優先的に収容することとする。

便槽を埋設し、マンホール型便器を集積させた非常用トイレ



避難スペースを囲うようにかまどベンチ・かまどスツールを設けて避難生活を支援する。

## 登米市における工業団地整備事業の概要

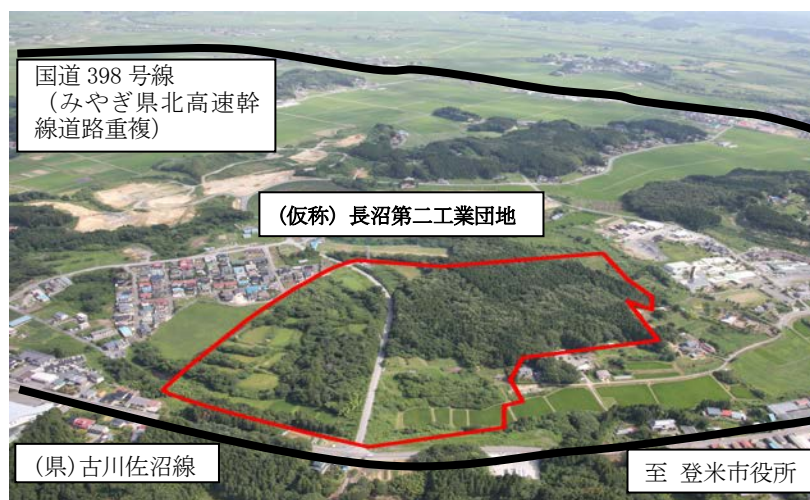
### ○事業目的

登米市では、雇用機会の創出を目的として企業誘致を推進するにあたり、市内の工業団地が完売しているため新たな工業団地の整備が求められています。

このことから、市内の迫町、登米町に2団地の整備を図るものです。

### ①(仮称)長沼第二工業団地整備事業

- ・事業箇所：登米市迫町北方字大洞地内
- ・事業計画面積：約12.2ha
- ・事業計画年次：平成25年度～平成27年度
- ・分譲予定区画面積：4区画、約10.0ha
- ・分譲予定年次：平成28年度～

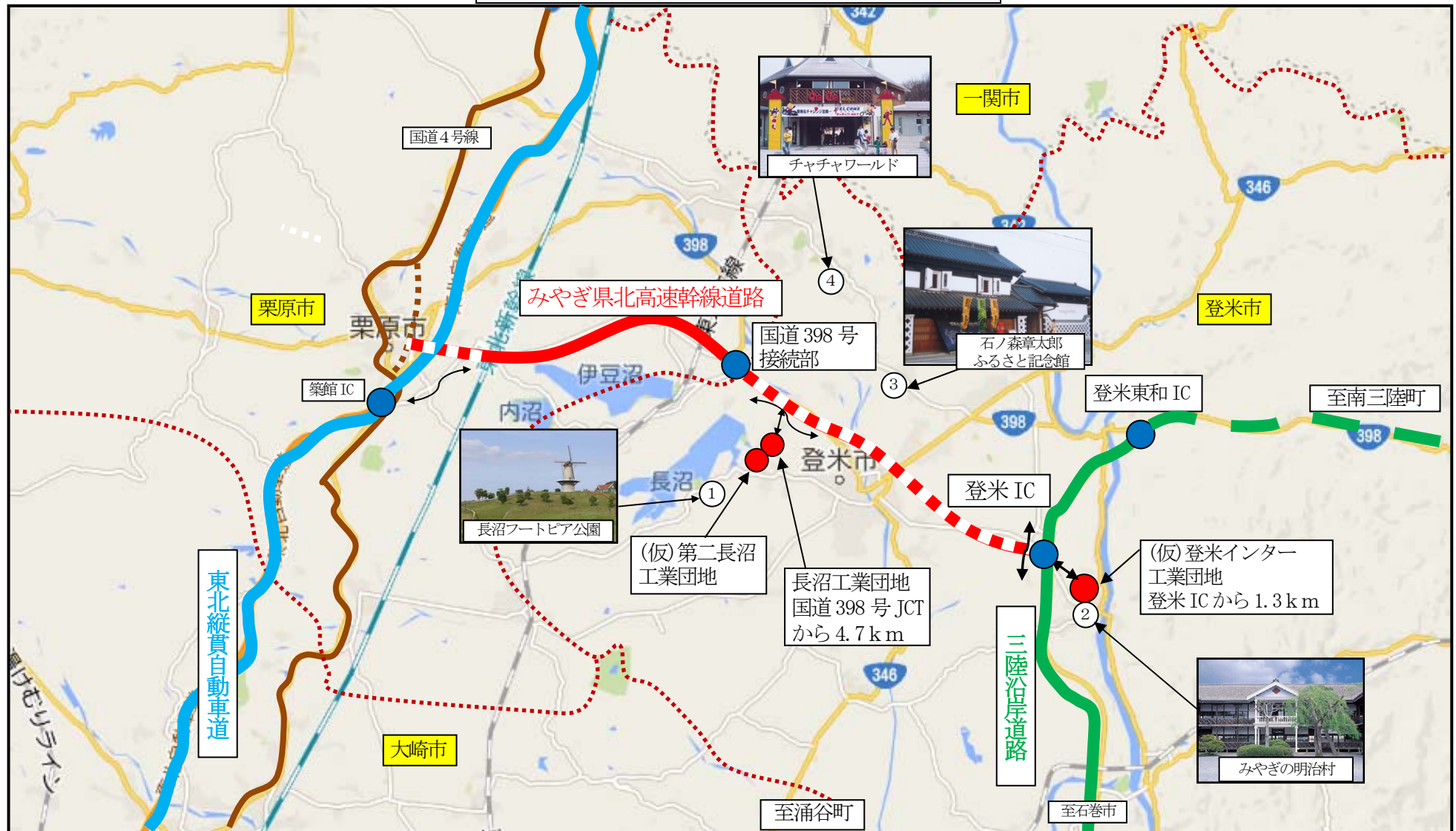


### ②(仮称)登米インター工業団地整備事業

- ・事業箇所：登米市登米町日野渡地内
- ・事業計画面積：約7.2ha
- ・事業計画年次：平成27年度～平成29年度
- ・分譲予定区画面積：未定
- ・分譲予定年次：平成30年度～



# 登米市の高速交通体系図



- (三陸沿岸道路 H27 供用開始予定区間)
  (国道4号バイパス事業中区間)
- - - - - (みやぎ県北高速幹線道路事業中区間)

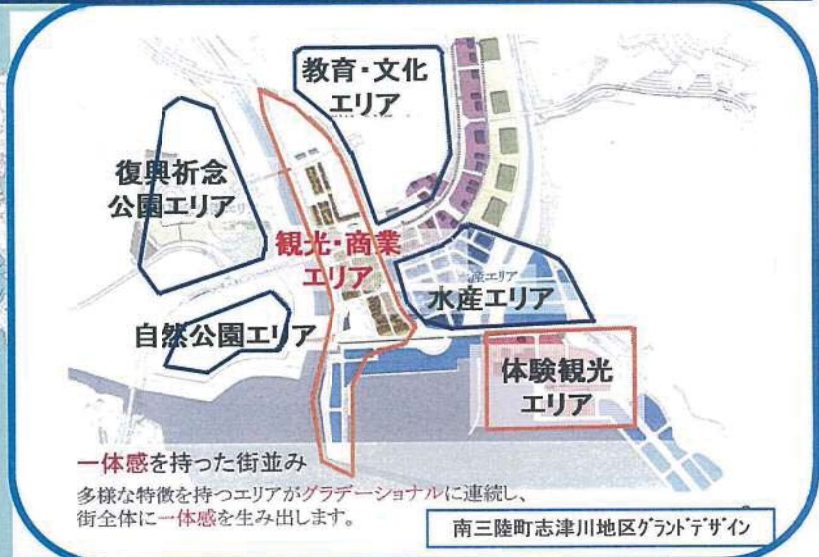
南三陸町

# 自然・ひと・なりわいが紡ぐ安らぎと賑わいのあるまち

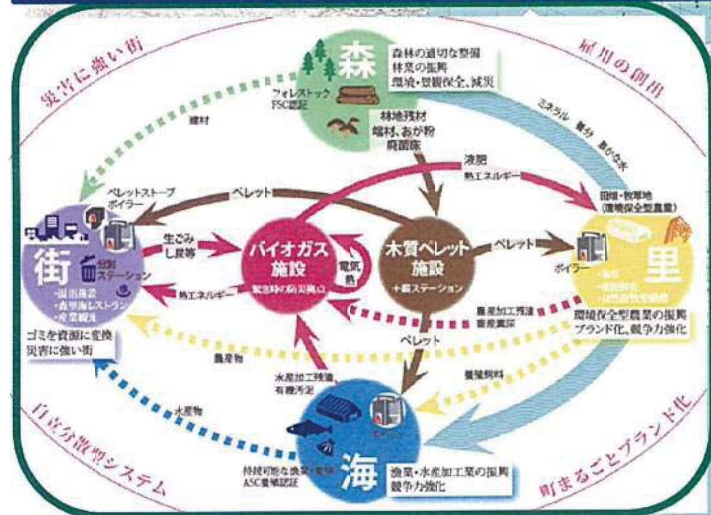
## 商工・観光の整備 交流人口の拡大



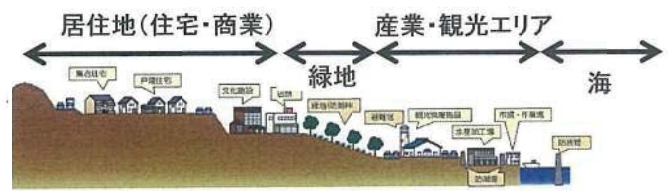
## なりわいと賑わいのまちづくり 産業の再生・発展



## 自然と共生するまちづくり エコタウンへの挑戦



## 安心して暮らし 続けられるまちづくり 命を守る土地利用への転換

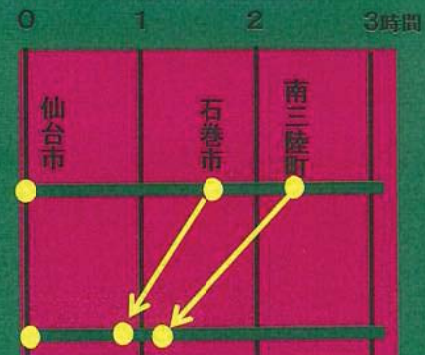


# 三陸沿岸道路の整備効果



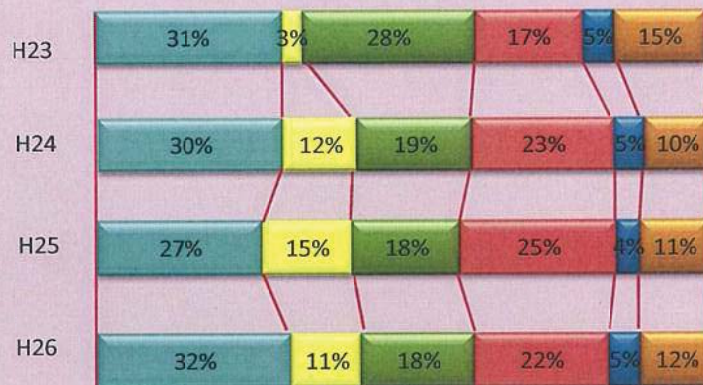
救急車の搬送時間が短縮されて救命率が上昇し、安全な暮らしが確保されます。  
さらに、津波などの災害時には緊急輸送路や避難路となり、地域住民の安全と安心が確保されます。

三陸沿岸道路の整備による所要時間の変化



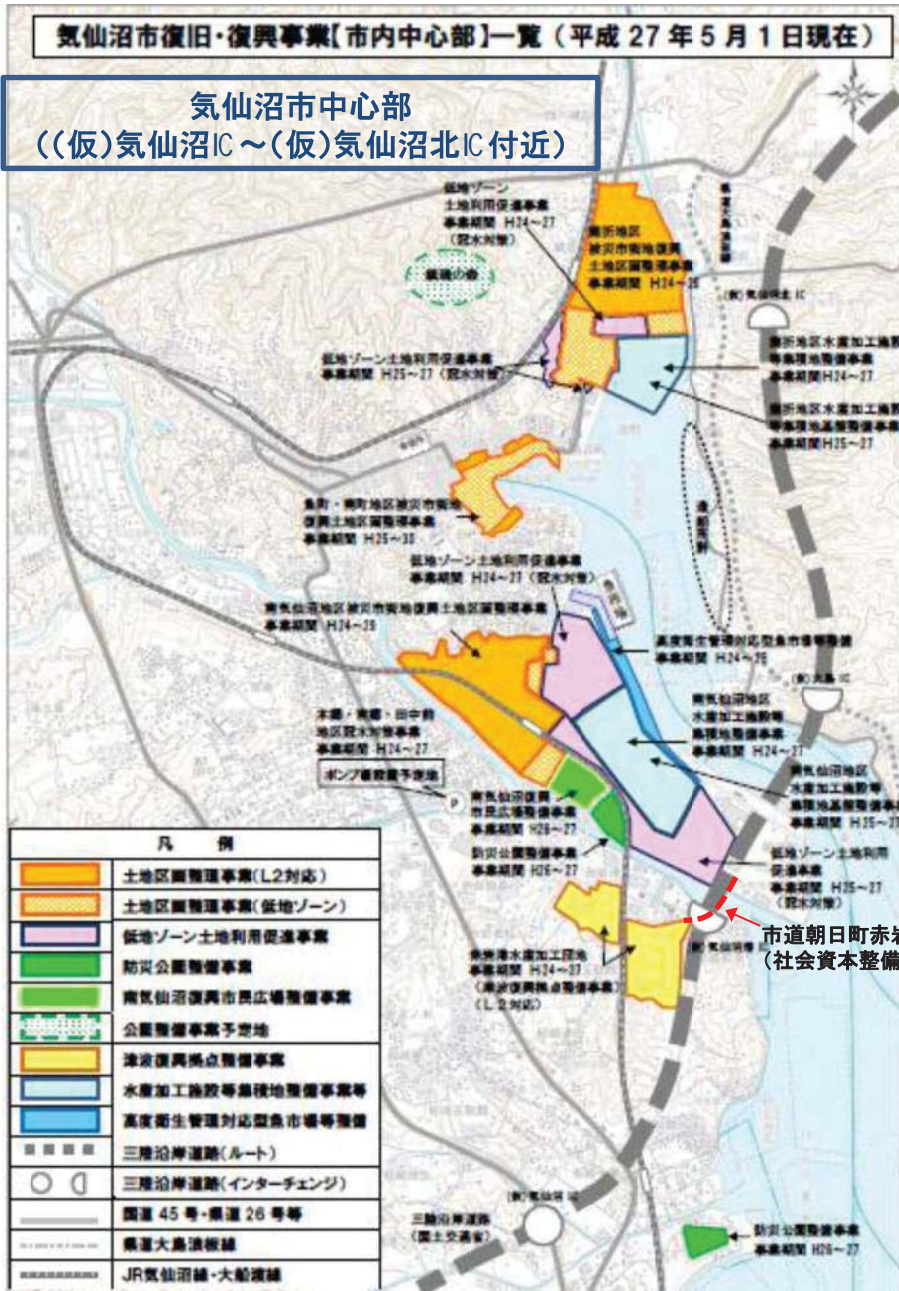
## 搬送先別急病患者の搬送件数

- 公立南三陸診療所
- 公立志津川病院(米山)
- 気仙沼市立病院
- 石巻赤十字病院
- 登米市民病院
- その他





# 三陸沿岸道路を前提とした水産加工業集積地等整備



## [産業・生業の復旧・復興状況]

- 産業用水道、電力  
震災前の5割の使用量。
- 気仙沼魚市場水揚げ  
数量、金額とも震災前の約75%。
- 水産加工業  
震災前と比較して、再開数9割・生産量4割・生産額5割。
- 水産加工施設集積地整備(鹿折地区、南気仙沼地区 計29.2ha)  
83社立地予定のうち、27社が工事着手。うち19社が稼働。

水産加工施設等集積地整備



鹿折地区(～H29)  
南気仙沼地区(～H27)

水産加工団地(津波復興拠点)



赤岩港地区(～H27)

造船施設高度化  
・漁業用燃油施設整備



朝日町地区(～H29)

高度衛生管理対応型  
魚市場整備



(～H28)

土地区画整理

鹿折地区(～H29)  
魚町・南町地区(～30)  
南気仙沼地区(～H29)

企業誘致

誘致実績(H23～)=4社  
/折衝件数(H23～)=569社

[水産加工施設集積地立地(予定)関係者のコメント(三陸新報)]

■「復興に向けて一生懸命頑張っているが、輸送面で不安が出てきた。早く道路ができればそれだけ復興も早く進むのに。」

■「製品を送り出すだけでなく、原料の運び込みにも期待していたのだが…。早く整備を進めてほしい。」

■気仙沼市の基幹産業である水産業にとって、輸送時間や輸送コストの問題は死活問題。

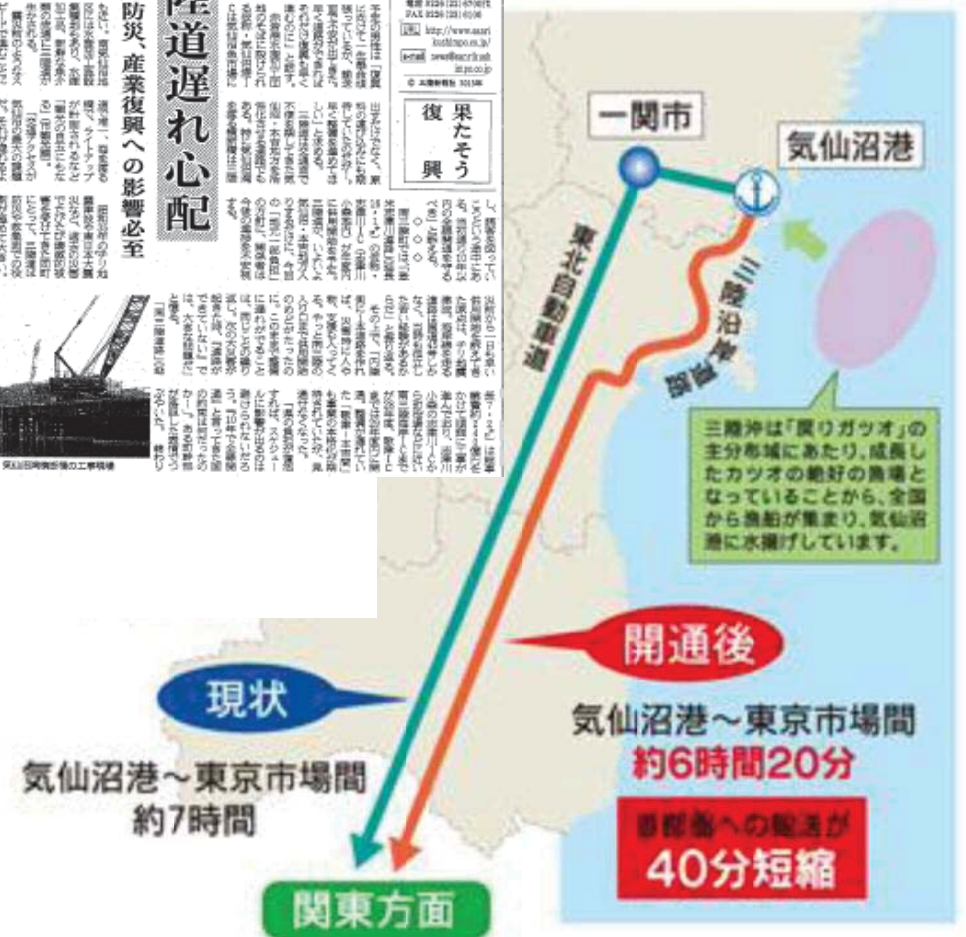
■三陸沿岸道路の開通を前提に、気仙沼中心部における水産加工施設集積地の整備等を推進中。



■三陸沿岸道路の早期・着実な整備を。



水産物の輸送時間の変化



※気仙沼港～東京市場(築地)間の所要時間による  
出典:平成22年度道路交通センサス、益間峠道路通行速度により算定/未整備区間は、道路規制・車線数に応じ70～100km/hで算定

■三陸沿岸は、リアス式海岸に由来する景勝地等の観光資源が散在。

■三陸沿岸道路の開通により、周遊観光における行動可能範囲が広がるはず。



■魅力の発信・魅力の向上に努めて、観光の活性化につなげたい。



安波山から内湾地区を望む



亀山から唐桑地区を望む



徳仙丈山のつつじ



大谷海岸



気仙沼市事業一覧【主に住居系】(平成27年5月1日現在)

[住まいの確保関係の復旧・復興状況]

■防災集団移転促進事業 整備予定 38地区 966戸  
H27.4 217区画(22.5%) → H27度末98.4% → **H29度末100%**

■災害公営住宅整備事業 整備予定 28地区 約2,200戸  
H27.4 185戸(8.6%) → H27度末48.9% → **H29度末100%**

■気仙沼市は、地形的制約が厳しいとともに職住近接指向もあり、集落が散在。

■防災集団移転、災害公営住宅等による市街地・集落においては、三陸沿岸道路によるアクセス向上に期待感あり。



凡 例			
● ○ ○ 地区	移転候補地(協議会方式)・地区名 (囲み数字は整備戸数)	■ 地区名	集合住宅(RC構造)・地区名
● ○ ○ 地区	移転候補地(市誘導型)・地区名	● 地区名	長屋・戸建住宅(木造)・地区名 (囲み数字は整備戸数)
⑥ ○ ○ 地区	引き渡し開始済地区・地区名 (囲み数字は整備戸数)	■ 地区名	入居開始済地区・地区名 (囲み数字は整備戸数)
-----	JR 気仙沼線(鉄路運休区間)	-----	土地区画整理事業
-----	JR 大船渡線(鉄路運休区間)	-----	三陸沿岸道路
-----	ID 十勝沖線(鉄路運休区間)	-----	-----